（一）號五十九百千三第　THE KEIJO NIPPO　日一月八年五正大　（第三種郵便物認可）

京城日報

三十一日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

先帝第四年御例祭

宮中皇靈殿の御儀

三十日は明治天皇第四年御例祭當日に付宮中皇靈殿にては午前八時より御殿の御裝飾御祭典準備を整へ同九時より主任式部官吉田要作氏其の他の諸氏大禮服にて著塲九時より掌典長以下各掌典祭服にて出仕大山、松方、東郷各大勳位大隈首相以下各國務大臣奥、井上、長谷川、河村、寺内各元帥各親任官其他は大禮服又は盛裝にて陸續參進休息所に入り轉て伏見元帥宮閑院大將宮同妃伏見若宮同妃久邇少將宮同妃梨本少將宮同妃其の他各皇族同妃殿下何れも御盛裝にて順次御參進御著床あらせらるゝや前記各官も順次御殿に參進す同九時三十分に至り式部職神樂師の神樂歌奉奏中に東園掌典次長御開扉神饌幣帛を捧げ掌典長祝詞を奏し此の間陛下には御東帶御袍にて波多野宮相以下侍從長以下の扈從にて出御參列各員の最敬禮中に親しく御玉串を奉り御告文を奏し給ひて御拜あり訖つて入御（皇后陛下には御都合にて御代拜あり）次で前記御參列の皇族各殿下大勳位以下親任官一同拜禮を畢し御神樂歌奉奏中に掌典幣物神饌を撤し御扉を閉じ各員順次退下せり正午再び開扉伯子男爵從二位以下勅三級以下奏任官同待遇數百名の參拜あり午後五時より御神樂の儀に移り同九時より掌典長祝詞を奏し　天皇陛下再び出御御拜禮を行はせられ訖つて神代の御神樂數曲を奏し午前零時に至り漸く御終了撤饌閉扉並に御祭典御結了相成りたり（東京特電）

段國務總理辭表提出

支那紙の報ずる所に依れば段國務總理は名を省山避暑に藉りて二十七日辭表を提出したるが黎總統は國事多難の際とて人を派して引止運動を爲しつゝあり（北京特電）

洮南全く危地に陷る

在住邦人は大半立退く

巴布札布の率ゆる蒙古宗社黨軍は勢益々猖獗なり既に占領せる突泉縣は洮南の西方約百支里の地點にて其の後呉統領の派遣せる討伐軍の爲めに奪還されたるも蒙軍猶頻りに南下し今や其の進路を轉じて洮南の北方に現はれ討伐軍は之を阻止する事能はず洮南府は全く危地に陷れり突泉縣奪還の際討伐軍を指揮せし呉統領は敵の猛襲を受けて重傷を負ひ鄭家屯に引き上げたるも生命には別條なからん洮南には既に戒嚴令を布かれ同地居住の邦人は大半立退きたり右に就き鄭家屯駐屯軍は全部洮南に向ひ二十八師兵の一部鄭家屯駐屯の事となれり（奉天特電）

李烈鈞軍撃退さる

廣東來電に曰く龍濟光軍は二十七日白雲山に於て李烈鈞軍の攻撃を撃退せり李軍は又機關局を三回襲撃せるも撃退されたり（上海特電）

飽迄龍濟光を撃て

唐紹儀、伍廷芳、温宗堯は岑春煊に打電して曰く英國領事の忠告を顧慮することなく飽迄龍濟光を攻撃すべく商同人等は海軍維持費として商人より近十萬元を得たれば李鼎新の海軍は九月下旬迄本と行動を共にするを得べし（北京特電）

濠洲國防準備の聲明

メルボルン來電に曰く濠洲國防大臣ピーヤース氏は濠洲は將來戰爭に對して準備せざるべからず又國家的完全の組織を設けざるべからずと聲明し濠洲政府は首相、行政委員長國防海軍兩大臣海陸軍代表者を以て組織する國防委員會を設置すべき計畫を樹てたり猶濠洲の産業商業の發達鐵道通信機關の狀態を注意し其の記錄を作成すべき官職を設けらるべし（倫敦電報）

アバム號事件獨逸敗訴

ノーフォーク（ヴアーヂニア州）來電に曰く米國聯邦法院はアバム號事件に對し獨逸側の敗訴を宣告し獨逸乘組員は同船占有資格無しとの決定を與へ同船及び其の搭載貨物は之を英人持主に還附すべしと命じたり（紐育電報）

英警邏艦二隻撃沈さる

獨潜航艇隊は蘇格蘭沖に於て四隻の英國警備艦と戰ひ其の中メリー、ナツタノの二隻を撃沈したり（紐育電報）

成功せるエルヂンガン占領

露軍のエルヂンガン占領は特筆大書すべき戰功なり露軍は一日十五露里の割合にて山路を進軍しエルヂンガンに接近するや半圓形の陣形を作り前進して敵軍に近づき漸次其の戰線を縮めたり敵は死物狂ひにて抵抗を試み頗る勇敢に戰ひたるも其の效無く終にシヴアスに退却せり尚エルヂンガン占領の結果は左の如し

一、土軍第三軍としてアナトリアに退却するの止むなきに至らしめたり
二、土軍の左側面をして黑海々岸に沿ひ西方サムスン方面に退却せしむべく斯くて亞細亞戰場の土軍の戰場は薄弱となり漸次危險に瀕すべし
三、敵は莫大なる糧食軍需品を西南方面に移すこと能はず而も之れを我軍の手に委せり（露都電報）

露軍ガリシヤの追撃

サカロフ軍はスロノウカ河を渡りガリシヤに入りレムベルグ街道に沿ふてブローデイー地方の墺獨軍を追撃しつゝあるが今日迄に俘虜四千を獲たり敵の全軍團は開放せるものゝ如し（倫敦電報）

露軍ブロデイーを占領す

露都來電に曰く敵軍はスロオウ河ボルヅロヴア河南河岸の全戰線にて敗北し露軍はブロデイーを占領せり又露軍はルック西方の敵線全部を突破し敵は敗退せるが露軍は九千の捕虜（其の中將官二名あり）及び四十六門の大砲を鹵獲せり（倫敦電報）

▲ブロデイ退却の狀　二十八日夕刻發表の公報に曰くブロデイ、ルックの戰勝を確保し我が騎兵は逃走せる敵を追撃してルック西方に於て敵を潰亂せしめたりブロデイにて得たる俘虜鹵獲品は頗る多く總數は未だ判明せずブロデイ占領に先だち同市街の數

衞所に火災爆發起れる爲め全道市街を燒盡せんとしたるものゝ如し而して露軍は同所より絶へず市街の兵器を移送し居る狀を目撃せられたり（露都電報）

露軍のエゼルサニ占領

露都來電公報に曰く露軍は騎兵隊の攻撃を以てエゼルサニを占領したり（露都電報）

チステキー軍の獨軍撃退

チステキー軍はドニエステールの南部にて獨軍を撃退し砲五十五門を鹵獲したり（倫敦電報）

露軍各方面に優勢

露軍二十五日中の所得は將校四百兵卒二萬大砲五十五門なり敵軍はコヴエル、コジストフ鐵道よりブロデーに至る戰線一帶より驅逐されたり露軍はドニエステール敵方スタニスラウオフ方面にて重要なる勝利を得たり小亞細亞方面にては我軍はジヴアス、カルツト方面に前進中なり（露都電報）

墺軍の本防御線に薄る

ルウオフ落ちんか敵の破滅也

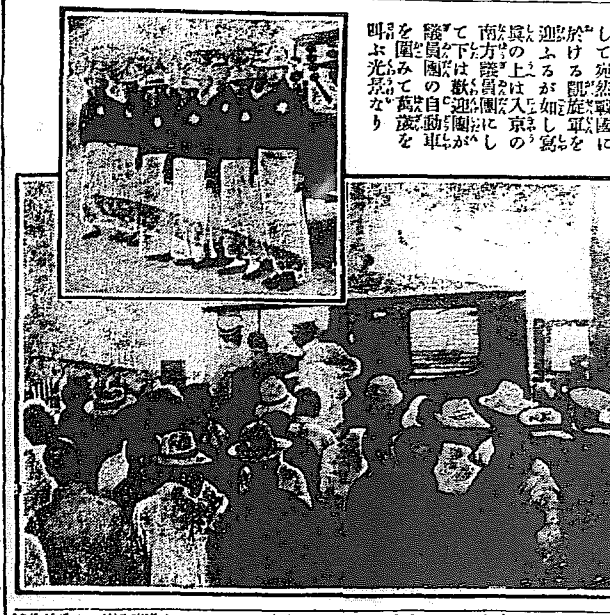
露のサカロフ軍はルウオフ街道を保護し且つ西北方よりの包圍に對しブロデイを擁護せんが爲め獨軍に依り頑強に防禦せられたるボルドウロウ河を渡りて根氣よく敵を壓迫しつゝありブロデイ、ルウオフ線は東部戰線に於ける墺軍の本防禦線にしてルウオフを再び失ふは敵の破滅を意味するものなるべし（露都電報）

聯合軍の準備完成す

佛國公報の說述に據り察するに今や各戰線に於ける聯合軍の準備は完成せるを以て八月に於て聯合軍が獨軍に對し一齊攻撃を加へ以て之に大損害を與ふべき事疑を容るべからず（巴里電報）

凱旋を迎ふる如し

一日開院式を行はるゝ國會に出席すべき多數の南方議員を率ひて入京せる新任內務總長孫洪伊氏一行を迎へん爲め北京政治界の有力者二千餘名二十七日早朝より停車塲に詰めかけ一行歡迎に熱中せる光景にして宛然戰國に於ける凱旋軍を迎ふるが如し寫眞の上は入京の南方議員團にして下は歡迎團が議員團の自動車を圍みて萬歲を叫ぶ光景なり



陞敍

三十一日嘉納高等師範學校長以下三百七名に對し位階陞敍の御沙汰ありたり中主なる者左の如し（東京特電）

敍從三位　東京高等師範學校長正四位勳二等　嘉納治五郎

鐵道船舶郵便規則改正要旨

鐵道船舶郵便法の改正に伴ふ鐵道船舶郵便規則改正の件は七月三十一日府令を以て發布八月一日より實施の事となりたるが改正の要旨は全裡輕便鐵道及び併用軌道による郵便物の輸送に鐵道船舶郵便法及び規則を適用する事を規定せる外其他は多く字句の修正等に過ぎずと

所得稅法と法人

所得稅法の一部を朝鮮に施行するの件は七月二十一日勅令を以て公布されたるが同令施行期日乃ち八月一日以後に於て事業年度の終了する法人の其の事業年度の全所得には法定の所得稅を賦課すべく三十一日附政務總監より各道長官に通牒したり

地査委員會

高等土地調査委員會は三十一日午前十時より總督府第一會議室に開會、山縣委員長以下各委員出席、土地調定に對する申告に付き審査の上午後散會したり

李太王御訪問

李王同妃兩殿下は八月二日午前十時昌德宮御出門、德壽宮に李太王殿下を訪はれ暑中御見舞の御挨拶ありたる上午餐を共にし午後三時御歸還の事となれり

駐支英代理公使

三日朝通過の豫定　英國外務省東洋部長より駐支代理公使に轉じ日本通過北京へ赴任の途なるアルストン氏は二日夕釜山上陸同夜釜山發三日朝京城通過の直通列車にて北京へ直行の筈なり

黑澤參事官入京

法制局參事官黑澤貞雄氏は三十日朝釜山著直に北行同夜入京せり

石井御用掛視察

宮內省御用係石井國二氏は二十九日歷史地理調查の爲め論山著忠淸南道廳よりは西本學務主任說明の爲之を出向へ又村全北益山郡守も隨行腕車を連ね午後五時扶餘著扶餘郡廳よりは安郡守佐々木庶務主任洞東門外に之を出迎へ直ちに北水亭、平濟塔初め隈なく視察の上扶餘館に一泊三十日午前七時扶餘出立公州鳥致院を經て京城に向へり

京仁精米業者打合

朝鮮精米五萬七千石を露國の軍用米として輸出せんとする計畫ある由は本紙既報の如くにして愈々其輸出に關する大體の商談整ふと共に京城に於ける二三の有力者によりて極力準備に奔走しつゝあれば近々京仁の同業者に會合を求めたる上精米製造に關する打合をなす筈なるが右につき京城の精米業者天日常次郎氏は三十一日午前仁川に向ひ奥田貞次郎氏を初め其他二三の當業者と打合す所あり奥田氏は素より其他の同業者も大に之に贊同の意を表したりと云へば今後とても順調に商談進行すべし

朝鮮輕鐵總會

朝鮮輕便鐵道株式會社にては八月十二日午後一時より東京鐵道協會に於て第一回株主總會を開く筈なるが當期補助金及び收入處分案は左の如し

△金七千五百四十四圓也政府補助金△金四千二百六十二圓七十五錢也資本勘定收入△金八千二百九十三圓十四錢也
一合計二萬五十五圓九十錢也
內
△金七千五百圓也株主配當金（一株に付十二錢五厘年六朱の割）△金一萬二千五百五十五圓九十錢創立費に償却
合計金二萬五十五圓九十錢也

仁川

▲森支店長赴任　新任十八銀行釜山支店長森常吉氏は三十一日午後五時三十分仁川驛發夜行列車にて釜山に向ひ出發の際官民有志の多數見送りありたり▲森副會長に記念品　小學校兒童保護會副會長森常吉氏は同會創立以來副會長として且名譽會計監督として會計事務を監理せしが今般釜山に赴任に付同會有志は感謝狀に添へ高麗燒花瓶一個を贈れり

平壤

▲寄宿舍工事進捗　平壤中學校寄宿舍新築工事は地均基礎工事九分通り完成し大工建方は木立四棟分終了し目下瓦葺きをなし居れり多分十月一日迄には全部の竣成を見るべし▲明治天皇祭　平壤中學校に於ては七月三十日午前八時より寄宿舍友樂舍に平壤在住の中學生六十四名を召集し職員全部列席の上赤木校長より明治天皇御聖德の一般に對し訓話をなし午前十二時解散せり▲將校官舍工事　既報の如く平壤第七十七聯隊新築將校官舍工事は地均基礎工事終了大工建方は既に八九分通りの進行をなし瓦は內地石川縣能登港より此程鎭南浦港へ回漕されたれば不日平壤に到著すべく著々と工事を取急ぎ居れば多分九月中旬の頃には全部の完成を見るべし▲平南の夏蠶　平安南道各郡の本年夏蠶は掃立枚數五千枚收繭豫想額一千石を下らざる可く本道中夏蠶の最も多きは順川郡第一位也と

春川

▲警務部長檢閱　藤谷江原道警務部長は二十五日より二日間春川憲兵分隊及び警察署の檢閲を施行し何れも無事終了したるを以て一日の恩賜休暇を與へしたるが春川分隊は管下一等の好成績なりしと▲春川衞生狀態　梅雨續きて鬱蒸を感じたる春川は昨今天候恢復と同時に苦熱猛烈し一般惡疫發生を憂慮しつゝありしが幸ひ當局の周密なる注意と個人衞生の普及とにより僅々二名の傳染病患者を出したるのみにて目下良好なる狀態を持しつゝあり▲畜牛移動狀態　春川郡畜牛移動狀態を見るに屠殺數に於ては大正元年九百八十四頭同二年一千零六十三頭同三年一千百四十九頭同四年一千二百二十八頭にして尚ほ同年次に於ける斃死數は六十三頭五十八頭三十六頭三十二頭なり而して移入に對する移出超過數は大正元年二百九十八頭同二年三百七十四頭同三年三百二十六頭同四年四百八十三頭なるが生産數は大正三年一千七百十三頭同四年一千八百五十七頭を示す好況なり之れを要するに屠殺數の逐年增加するは地方の發展に伴ひ需用供給の擴張に外ならず之れに反し斃死數の年々減少し生産數の年増殖されつゝあるは畜産組合設立の効果と謂ふを得べく尚ほ毎年移出が移入に對し順調に超越の狀態を示すは從來各方面に重用さるゝ畜牛の誇とする處にして當局は倍々之れが改良發展に努力すべし

人事消息

▲川江齊雄氏（鐵道局釜山建設事務所長）卅一日出發歸任
▲香椎源太郎氏（朝鮮瓦電社長）卅一日朝入城
▲宮木又七氏（全南道技師）卅一日南大門發東上
▲吉田平治郎氏（京城覆審法院判事）一日出發慶尚北道へ
▲安藤友四郎氏（高陽警察署長）一日より三週間の豫定にて鹿兒島へ
▲玉木貞次郎氏（運輸部釜山支部長）三十一日內地より歸釜
▲深川傳次郎氏（新義州府尹）三十日午後關丸にて內地へ
▲永沼直方氏（京城地方法院判事）同上
▲島崎孝彦氏（土木技師）同上
▲安藤習氏（軍參謀中佐）卅一日朝發元山へ
▲趙重應（子爵）同金剛山へ
▲武富陸軍運輸部元山支部長　同元山へ
▲山根武亮氏（陸軍中將）卅日夜入京南山町林田氏方へ
▲探田忠雄氏（土地調査局監査官）入京中の處三十日夜退京
▲黑崎定三氏（法制局參事官）三十日夜入京同尾へ
▲梅園鎬衛氏（千葉縣立中學校長）同不知火へ
▲狩野富力氏（同縣成東中學校長）同上
▲伊藤重三郎氏（光州地方法院判事）同上

明治天皇祭

大塊
○
昊天氣浩見み仰ぐ今朝や露
大皐
○
峰茂り見みて東方拜しける
大天痴
○
茂り往く新麗の靑草見そなはせ
暑き今日御詠を仰ぐ八千萬

爲調病往金剛溫泉率題二絕以示同人
琰田趙重應
開道仙寰沆瀣淸。衰病如吾可養生。不識多年貞痼甚。纔言犯熱枉山行。
輕裝僕馬去翩々。回首都門更黯然。滿三月返何依戀。若有紅塵未了緣。

書懷
大痴道人
卷舒自在儘隨緣。寄跡韓山既二年。世上風霜鍊心去。有時不免死灰然。

汽車時間表（七月十日改正）

水標橋附近の出水

●短時間に稀しい大雨

水標橋附近の氾濫＝溝渠破壞多し

三十一日朝の驟雨は其の降雨時間の短かりし割合に降雨量甚大にして爲めに市内各所に相當の被害を見たるが此の驟雨の

▲特異なる點は 降雨區域の極めて狹隘なるに在る廿八日以來北滿洲及び東部支那方面より接近せんとしたる高氣壓の影響は二十九日に至り朝鮮中部殊に京城附近に於て著しく氣温を昂騰せしめたるが同時に此地方に發達しつゝありし低氣壓に急激なる變化を與へたるに因り京城府内にても南山を中心として西北方に亘る一線に降雨甚だしく東大門外より漸次小雨となり清涼里附近には全く降雨を見ざりし如き奇なる現象を呈したり降雨は午前四時四十五分より同十時三十分まで繼續し此の

▲短時間に於て 四十四ミリの雨量を示し最も激甚なりし際には一分間に五ミリ以上の降雨を見たるは蓋し稀有の事なり斯くの如き豪雨の爲め市内の溝渠は忽ち氾濫し午前八時頃既に水標橋は七尺四五寸の増水あり鍾路署より警官十數名出張して萬一を警戒せり京城府廳に於ても土木係員を各方面に出張せしめて被害の調査中なるが同日正午までに知り得たる被害は水標橋より下流船橋附近は一面に道路上に氾濫したるも大なる被害なく

▲人家の浸水も 多少ありたるも何れも減水迅かなりし爲め被害少し仁義洞總督府醫院入口附近及び東大門通等一面に氾濫し家屋の浸水及び道路面の破壞等多少の被害ありたりパコダ公園裏手より測候所入口附近も低地なる爲め浸水深く其他黃金遊園附近溝渠にて過般の降雨の爲め破壞したる個所被害を増大し旭町山口太兵衞氏宅前道路山崩れの爲め一時交通杜絕したるも府廳より人夫を出し早速應急修理を施したり、猶天眞樓横手下手渠三四間口破壞したると漢陽公園及び

▲南山公園道路 等十數箇所に多少の被害あり南米倉町低濕地に在りては二三の甚だしき浸水家屋の外道路面の破壞少からず龍山方面に於ては工事中の旭橋其の他に於て多少の被害を免れざるべしと

●伯林より君府へ

四國首都間の飛行機航路開かれん

維納來電に曰く商業及び郵便物運搬の必要あり伯林、維納、ブタペスト、君士坦丁堡間の飛行機定期航路を開始する計畫あり（經濟電報）

●傳染病發生 平南龍岡郡[illegible]池洞鐵道局[illegible]林きま（三七）は七月二[illegible]罹り平壤慈惠醫院に入院平南江西郡飯山面來龍里松村勘三郎（四一）は七月二[illegible]又た平南江西郡飯山面梨里梅澤鐵次[illegible]赤痢病にて平壤慈惠醫院病舍に收容さる

[illegible]和方に於て花札を以て賭錢と稱する[illegible]

●獨帝激怒

西班牙人に對し

マドリッド來電に曰く獨逸皇帝は西班牙智識徒が白耳義に同情を寄する宣言を爲せし爲め激怒し白耳義に土地屋敷を有する西班牙貴族に對して該宣言書に署名せし者に通知を爲し署名を撤回するに非ざれば獨軍中最も剽悍なる兵士を選拔し之を在白耳義なる其の屋敷内に駐屯せしめ家財を破壞せしむべしと述べたり（倫敦電報）

●暹羅皇弟渡米

三十一日解纜天洋丸にて米國御遊學の途次三十日朝天洋丸にて横濱に御入港の暹羅國皇弟ノンクラ、ナカリン殿下には畏き邊より御案内の爲非公式に差遣はされたる式部官渡邊直達氏を初め暹羅國公使ジターカ氏其の他の隨員を隨へ三十日午前十時十分東京驛著列車にて御入京麻布笄町なる同國公使館に入りたるが三十一日午後三時横濱解纜の天洋丸にて御渡米の途に就かせらるゝ由（東京特電）

●新しい郵便規則

愈々八月一日から實施

▼今回改正せられた郵便規則は八月一日から實施せられ朝鮮に於ても內地と同樣に同日より實施せらるゝ事となつた▼それは郵便禁制品を封入したり又小包の中に手紙を入れたりして公安を害し風俗を紊すやうな物を入れたりしてゐることが知れたら、これまでは郵便局の方で差出人に―開けて見せてくれ―といふか、厭だといつたら受付を拒むか二つの道であるだけで罰金も極めて輕いものであつたが▲今回改正せられた規則に依れば二百圓以下といふ高い罰金になり其の上差出人が開けて見せるのを厭だといへば局の方で開けて見ること

□今年は何處が一番暑いか

朝鮮附近は土用に入つてから絶えず支那方面より低氣壓が朝鮮を通過したので全般に可成の降雨を見た併し通過後一兩日は

▽小低氣壓が 朝鮮附近に殘つて居た爲めに天氣が定まらなかつたが二十四日頃から漸次北海道東方の海上に在つた高氣壓が發達して朝鮮半島の方へ擴張して來たので各地共天候が回復し氣温も漸次昇騰した爾來同樣の天候で今日に及んだが大した變調はなく愈々これからは好天氣を持續する事と豫想される差當り支那大陸又は南洋の方から何時低氣壓が襲來するかも知れないが今の處變調を見ない

▽氣温は昨今 漸次昇騰を示してゐるが例年に比較すると著しく低い目下內地では屢々最高極度三十三度以上になるのだが鮮內では今年は三十度以上に昇つたのは僅に數回あつたに過ない朝鮮で最も暑い土地は大邱であつて例年此頃は三十四五度に昇るのだが今年は二十七八度を上下して居る毎年小笠原群島方面から來る高氣壓が本年は反對に朝鮮の東北方から來た爲め京仁地方より平壤附近にかけて最も暑く過般元山附近が大變に暑かつたが之れは熱風の干係上一時的に止まつて其後變調は見ない

△二三日前に 南洋方面から優勢な颶風が北上したが之等は主として本邦の東海岸に襲來し朝鮮附近には何等の異常がなかつたが東京附近は之が爲め大風雨があつた其處で昨今各地の温度は怎ういふ風で有るかといふに二十八日仁川觀測所の調査によると中江鎭の三十三度四を最高として次が平壤の三十二度三、京城の三十一度六仁川の二十九度八龍岩浦の二十九度七といふ順序で朝鮮で一番暑いといはれて居る大邱や元山は非常に温度が低いのであるが之れは例年にない氣候の變調であるそして之れから益々暑くなつて行くのである（仁川觀測所和田理學士談）

●五名を殺害して放火す

舞鶴海兵團三等水兵安藤孝之助は去る二十日郷里新潟縣中頸城郡輕井村に歸りたるが孝之助は其の身が長男に生れながら家産を義兄の弟某が繼がんとするを聞き非常に憤り實父、繼母、義兄弟全家族五名を殺害し其の上放火せしこと此の程に至りて發覺し拘引されたり（大阪特電）

●今年始めての暑さ

▽華氏九十一度を示す

三十日の暑さは本年始めての最高温度にして同日午後一時三十分の最高レコードは三十三度二（華氏九十一度）を示したり此の激なる高温度の原因は數日前より支那山東省方面及び北滿洲沿海州方面に擴がりつゝありたる高氣壓漸次北朝鮮方面に接近し來れる爲め此の兩方面より高熱の吹き來れるに由るものなりと

●貨車六輛粉碎

三十日午前七時十五分成田鐵道千葉發下り列車が成田驛を距る七丁許りの處を進行中連日の豪雨にて地層緩み居りし斷崖は列車の震動の爲め約三十坪崩落し轟然たる響きと共に貨車六輛粉碎したるが幸ひ客車は後方に接續せし爲め無事なりしと（東京特電）

●一萬四千圓の訴訟

慶尙北道漆谷郡仁同面仁義洞張吉相より釜山大廳町明治屋事豐泉德治郎並びに從參加人西町伊藤合名會社山村正夫兩名に係る土地賣買代金返還請求金一萬四千二百三十二圓餘の民事裁判は鈴木院長裁判長と爲し二十九日釜山地方法院の民事廷にて審理の結果被告側の勝利に歸せり其の要點は曩きに豐泉は大正元年中倉員森の兩名に對し東萊府龍珠面牛巖洞の山野一萬六千二十二坪餘を代金一萬三百三十二圓二十三錢に賣渡せしを最初の持主即ち今回の原告たる張吉相が其類の欠點を奇貨として本訴を提起せしものなりと

●煙島沖で難破

仁川の鄭平船籍運送丸（二十噸）は去る十七日午前七時ダイナマイト百箱、火藥二十箱、工用雷管十四箱、導火線二十一箱を積載して仁川を出帆し群山に向け航行の途中二十三日午前三時頃俄かに北風烈しく襲ひ船體の操縦困難なる爲め一應避難せんとする際誤つて船體を岩角に乘りあげ船底を破碎し海水浸入甚だしくして船は徐々危險に陷りたれば乘組員は船板を一枚宛持ちて海中に投じ煙島沿岸に泳ぎ着き幸ひに生命には別條なかりしも損害價格は船體五百圓積載荷物八千四百七十圓なりと

●泥棒大工

岐阜縣惠那郡明知町生れ京城禮智洞居大工橋本橋（二三）は大正四年二月以來東亞煙草株式會社に雇はれ勤務し居れる內昨年十月中工場內より卷煙草の包裝用錫箔六百五十枚を窃取し其後毎日工場よりの歸宅の際卷煙草二三十本宛合計數千本或は洋釘數百匁を窃取したること發覺し此程鍾路署に引致せられ檢事局へ送らる

●下水溝に屍體

三十日午後八時頃京城貫鐵洞泰東鑛方前の下水溝暗渠下に死後間もなき鮮人嬰兒の

●土匪馬賊の跳梁

邦人約一萬圓を强奪せらる

山東省張店地方は曩に邦人被害續出以來人心恟々として鐵道沿線以外の旅行は依然危險視せられ商用にても已むなく他出する人も一時杜絕せる有樣なるが昨今官革既に休戰狀態にありて戈を戢め何等變化なく現狀維持といふ處なれば民情も幾分安堵に向ひたるもの、如く同地方在留商人は徒食を凌ぐべく商用の爲附近地方へ出掛くるものあるも未だ驛を距る一二里以外の地は依然不穩にて土匪馬賊の類時を得顏に出沒し民家を掠奪し婦女子を辱しめつゝあり現に去る十七日の如きも張店を距る一二里の地點にて商用のため入り込める日本人中彼等の襲來を受け僅に一日中に四回の被害に遭遇し制錢及び大洋約一萬圓の損害を蒙りたり彼等は純粹の土匪馬賊の類とも見へず其樣子より察するに官軍の脫走兵か或は解散を命ぜられて身の振方に困りたる革兵の成れの果と思はるゝ節あり何れにしても同地方は官憲の威信地に墜ち彼等匪賊の跳梁に委して蹂躙を恣にせりと（青島）

●海賊騒ぎ

二十五日夜十一時頃手に〳〵短銃又は棍棒を携へたる十數名の支那船漢小崗子北海岸危險品棧橋に現はれ折柄繫留中の支那戎克に踊り込み短銃を突付けて船夫を威嚇しつゝ解纜せしめ何れへか漕出し行衞不明となれりとて翌朝未明に至り小崗子警察官派出所へ訴へ出たるものありたるを以て直ちに此旨本署へ報告し八方手配をなし嚴重搜査中なるが未だに手懸かり無し（大連）

●九人組の海賊

大長山島哈馬島揚家店第三番戶舟乘業楊德忠（二九）外八名は所有戎克（二百六十石）にて小麥二百六十石を積み山東省羊角溝より貔子窩に航行中二十六日午後七時頃貔子島沖合約四支里の北方に差掛りたる頃約五十石積の戎克に海賊九名乘り込み露國式銃を擬して脅迫接近し同船に移乘し銀二十二圓外衣類二點價一圓六十錢を强奪して西北方に航走せるが同船は二十八日午後七時貔子窩に到着し其旨屆出たるを以て同地警察にては廻轉信號機に依り各列島に警戒方の信號をなしたりと（大連）

●東京相撲出發

東京大相撲は三十日を以て新義州を打ち上げ同日の夜行列車にて奉天に向け出發したり（安東縣特電）

●強盜殺人犯人

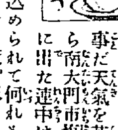
全北金堤郡德峙面岸將里生れの朴漢奉（三八）といふは同村に於ける李汝用なるものより其の妻と不義し居るものと疑はれ種々の迫害を受けたるを憤り去る四十二年の頃李學巖と云へる某徒魁の子分金同九なるもの、手下となり多數を語らうて李汝用を殺害し且つ金品を强奪したる事發覺し其筋の手に逮捕され二十七日全州支廳に於て無期懲役に處せられたり

●空家に忍込む

去る二十一日釜山府本町追間房太郎所有の西町一丁目の空家に忍び入り欅本間もの十六枚、九尺四枚物八枚價格五十餘圓を窃取し又去る二十二日には辨天町吉崎宗一所有の西町一丁目の貸家にて疊九枚半を其の翌二十三日には竹下佳隆所有の大廳町の貸家にて欅十枚、障子六枚を何れも盜難に罹りたる爲め釜山署にては犯人の搜索中なりしが右は大阪生れの當時寶水町二丁目野根乙次郎（三九）の所爲と判明し去る廿九日逮捕せられたり（釜山）

●科料一束

仁川新町十八番地米穀商山田弘見（一五）は掃除を怠り同町飲食店募金忠（三三）は腐敗したる「ラムネ」を販賣し同町飲食店林召史（五八）は腐敗せる飲食物を販賣したる廉により何れも仁川署にて五十錢宛の科料に處せられたり（仁川）



▲三十一日大雨の朝の事だ天氣を苦にしながら南大門市場に買出しに出た連中は喘嗟の大雨に降り込められて何れも小屋の中に野菜と一緒に立往生をした▲此の連中の間には買出しに出た支那人朝鮮人の小賣商人も居れば近所の奥様やら女中やら混つて居つた何にしろ息も突けぬ程の大降りだから一足も外へは踏み出せぬ▲其の內に車軸を流す大雨は溝から溢れ出して遠慮なしに野菜小屋へ浸水に及ぶ小屋の中は船の沈むやうな騒ぎ▲其の內に其處此處に山積みにして居つた茄子やら瓜やらがプカ〳〵と浮き上つて左樣ならとも云はずに小屋から出て行くのを通りがゝりの鮮童が素早く其奴を盜んで逃げる八百屋の連中ズブ濡に成つて追つかけて行くと▲今度は豬、家鴨が廢い池が出來たとばかりに泳いで來て菜葉を捜つて喰ふやら雨宿りをして居る奥さん連を追ひ廻すやらで一時は却々の混雜であつた

丹下熊太郎、高松、中野貞代、小林義雄、中野[illegible]光二、橋須竹松、久保誠[illegible]山一、安竹張隆、石川重次[illegible]部田三次、市川喜兵衞[illegible]

三十日午後入港 京城丸 二等客[illegible]

天氣 ▲八月一日 曇一時晴

夏期講習會々員募集

[illegible]

割烹 稻葉種太郎師　袋物 水野靜江女史

申込所 八月七日迄 南大門通五丁目廿一番地

實修裁縫女學校

嫁入道具 家具 いと（マーク）増田本店 京城本町二丁目一〇一 電話一〇九番 振替京城一七〇六番

京城電氣株式會社第拾六回決算報告

貸借對照表

資産之部

一 拂込未濟資本金	四五〇、〇〇〇、〇〇〇
一 興業費	六、八〇壹、〇八九、八貳參
一 興業費未決算	參四、壹壹六、七九四
一 貯藏品	貳八六、九四參、九六七
一 受取手形	四、參〇九、五〇〇
一 假拂金	壹〇、參七九、〇九貳
一 未收金	壹九〇、九九四、八七五
一 有價證券	參六六、〇〇〇
一 保證物件	五〇五、〇〇〇
一 銀行預金	壹壹六、四壹七、壹九〇
一 現金	七、〇壹六、五六〇
合計	七、九〇貳、壹參八、八〇壹

負債之部

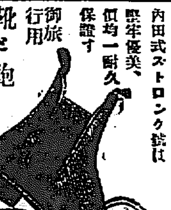
一 資本金	六、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一 準備積立金	壹〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一 別途積立金	壹〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一 使用人退職手當基金	壹、五參七、九〇〇
一 未拂配當金	貳、四九八、貳參〇
一 借入金	壹、貳參〇、〇〇〇、〇〇〇
一 契約保證金	壹壹、壹參五、〇〇〇
一 身元保證金	參八、貳貳七、四五〇
一 假受金	八、九四八、參七七
一 未拂金	壹貳四、〇參五、九九〇
一 前期繰越金	壹九、參五九、五七〇
一 當期純益金	貳六六、參九六、貳八四
合計	七、九〇貳、壹參八、八〇壹

利益金處分計算

一 當期利益金	參壹六、參九六、貳八四
內 償却金	五〇、〇〇〇、〇〇〇
一 差引純益金	貳六六、參九六、貳八四
一 前期繰越金	壹九、參五九、五七〇
一 準備積立金	壹五、〇〇〇、〇〇〇
一 別途積立金	壹五、〇〇〇、〇〇〇
一 使用人退職手當基金	參、〇〇〇、〇〇〇
內 役員賞與金	七、〇〇〇、〇〇〇
株主配當金（年八分）	貳壹參、〇〇〇、〇〇〇
後期繰越金	參貳、七五五、八五四

取締役社長 大橋新太郎
專務取締役 岡正矣
取締役 工學博士 白石直治
同 山口太兵衞
同 白寅基
同 伊藤幹一
同 下郷傳平
右調査候處相違無之候也
監査役 平澤道次
同 西村道彦
同 萩原源太郎

東洋一の魁 新流行 内田式ストロング靴は 堅牢優美、價均一、耐久保證す



御旅行用 靴と鞄 ●定價表郵券二錢

東京市芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄製造問屋 電話新橋一五五一、振替一八〇七七

株式會社第一銀行第四十期營業報告

貸借對照表

負債ノ部

一 資本金	貳壹、五〇〇、〇〇〇・〇〇
一 諸積立金	九、參五〇、〇〇〇・〇〇
一 諸預金	壹〇七、八七貳、貳九六・四八
（定期預金 / 當座預金 / 諸預金）	[illegible]
一 仕拂送金手形	壹貳參、九九六・八六
一 銀行券消却資金	五、五壹六、〇〇〇・〇〇
一 借入金	貳、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
一 本支店間未達勘定	貳、五九六、壹六七・貳八
一 他店勘定	五九四、參六四・八貳
一 未拂配當金	六、〇六九・五壹
一 未拂利息	六壹八、八八四・九壹
一 未經過割引料	五壹壹、壹〇六・九〇
一 前半季繰越金	七壹壹、九貳四・九〇
一 當半季純益金	壹、〇九貳、四貳五・壹〇
合計	壹五貳、四九參、貳參六・七六

資産ノ部

一 未拂込資本金	八、〇六貳、五〇〇・〇〇
一 諸貸出金	壹〇貳、參八五、參參五・八八
（定期貸 / 割引手形 / 當座貸越 / 荷爲替手形）	[illegible]
一 國債及地方債證券	貳參、九壹參、九六四・貳貳
一 株券及社債券	參、四九〇、七參貳・壹七
一 他店勘定	壹、五〇四、參五七・壹六
一 地所建物什器	貳、參參〇、六〇四・八四
一 新築費	參九、壹壹壹・五〇
一 預ケ金	壹、九七〇、四貳七・六四
一 金銀在高	八、七九六、貳〇參・參五
合計	壹五貳、四九參、貳參六・七六

利益金勘定

一 當半季純益金	壹、〇九貳、四貳五・壹〇
一 前半季繰越金	七壹壹、九貳四・九〇
合計	壹、八〇四、參五〇・〇〇
內 一 役員賞與金	五四、六貳〇・〇〇
行員恩給及退職給與金	貳壹、八四〇・〇〇
一 積立金	參〇〇、〇〇〇・〇〇
一 舊株配當金（年壹割）	五參七、五〇〇・〇〇
一 新株配當金（年壹割）	壹參四、參七五・〇〇
一 後半季繰越金	七五六、〇壹五・〇〇

大正五年七月
東京市日本橋區兜町一番地
株式會社第一銀行
頭取 男爵 澁澤榮一
取締役 男爵 三井八郎次郎
取締役 佐々木勇之助
取締役 熊谷辰太郎
取締役 日下義雄
取締役 佐々木愼思郎
監査役 土岐僙
監査役 尾高次郎
右各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證ス

京城府本町二丁目八十九番地
株式會社第一銀行京城支店
電話 壹番 同 六壹番 同 貳參壹七番
支配人 西村道彦

●海上生活

颶風の中心

△外套が裂ける

□船員の生活は思つた程涼しいものではない

□殊に船體が鐵板だからこれに灼けつく日光はなか〳〵暑く ホースの水を注いでも随分暑い

□然し月の好い晩などに船橋に起つと全く夏を知らずで過される

□夏は樺太から千島あたりの航海がよい、それにあの邊の海の魚釣りはなか〳〵面白い

□暑い時は風が欲しいがそれでも海上の颶風と來たら厄介なものだ

□中にも低氣壓の中心に近づいた時には晴雨計の針がズン〳〵下つていよ〳〵其の中心に巻き込まれたが最後船體は動搖をやめて傾いたまゝ吹き流される

□恁麼時には舷側が水面に二尺ばかり傾いて波も立たぬ

□併し球のやうな潮水は愉い程にヒユー〳〵飛んで來てズックの外套などはズタ〳〵に千切れ飛び端艇のダビットなどは風の爲めに曲りくねつて了ふのである。(遞信局伊藤海事課長談)

日向葵

●元山の海開き

△漁船行列、打揚煙火▽

○朝鮮一の海水浴場を誇る元山府民は八月一日の午後七時半から日露協約祝賀會を兼ねての『海開き』を催す

○八月一日の『海開き』は元山繁榮會が今年から初めて創始した催しであるが當夜は七八隻の小蒸汽船を曳船として府民の大部分が舟遊びをする

○猶往鋭のやうな灣内には絶えず美しい打揚げ煙花があがる筈

●受驗講習會の盛況

去る七月廿六日より永樂町研究會内に於て開催中の受驗者講習會は現在會員五十名の他に猶續々申込者ありて盛況を呈し居れり 始業は毎日午後四時より

●笹倉牧師入京期

日本基督教會牧師笹倉彌吉氏は滿洲各地を巡遊中のところ去る八月十二日奉天より入京すべく因に氏は明治五年の創設に係る日本基督教會の最古たる横濱指路教會にありて傳道二十五年の牧師として聞えたる人、今回上海に於て出故の爲め入京期延期となりたるも十三日十四日

神社と寺と教會

○本能寺(本町橋通) 八月二日午後二時及び午後八時の兩回 如月講師の法話 讀經と說教あり

○西本願寺(若草町) 卅一日午後八時より例會說教あり 東京留學生の無我會、三浦留學生の法話の講演

○天理教會 京城局(初音町) 八月一日午後八時より定例修行の後伊東講師の法話に次で會員の日誌研究に關する討論會あり

○仁川金光教會 八月一日午後九時より婦人會を開催すべし

―△會いろ〳〵▽―

□小學校水泳開始 仁川公立尋常高等小學校にては來月六日より向ふ十日間尋常五年以上の生徒中父兄保護者の承認を得たる者にして校醫の健康診斷を受けしめ差支なしと認めたる者に對し猶ほ海岸に於て水泳を教授すべしと

□納涼講演會 仁川東公園内にて佛教青年會主催の下に二十九日午後八時より納涼講演會を開催せしが聽講者多數あり盛なる極めたり

□日本基督教會小供大會 八月四日午前十時より同教會に於て開催の豫定なりしが笹倉牧師の入京期が十二日となりましたから十三日まで延期

△姫百合白煮 姫百合の根をきたなき處を小刀にてそぎとり鱗の先きに布巾をまきそれにて土をつゝき出す樣にしてよく洗ひ湯を煮立て、百合を入れ中煮へとしてすくひ上げ別鍋にあく引き砂糖を用意し沸きて其中に百合を下向にしてならべてふたの替りさして白紙をかぶせてそろ〳〵と煮込み金串にて通して試み煮へ通りたらば鹽を少しより込み二三回煮立て鍋をおろし其のまゝ冷めてから汁を含ませ上向きにして器に盛り取り猶口付などによし(青木はつ子)

婦人界消息

△立花れん子(立花中將令孃) 三十日夜内地より入京長谷川町同師團長官邸に入られました

△ルカツト夫人(平壤外國人小學校長) 八月一日平壤より歸米(向ふべし猶ほ同校卒業生十餘名も同行の筈)

△デリングハム孃(平壤崇義女學校長) 過般來長崎、京都、大阪、東京地方の各女學校參觀中のところ八月上旬歸校の筈

△國分けい子(司法部長官令孃) 過般來病チブスにて總督府醫院へ入院中のところ昨今非常に經過良好となりました

△渡邊可壽子(高等法院長令孃) 暑中休暇中京城に歸省されました

番茶のあと

支那領事館前の和田外科病院の庭には昨今十川の酷暑にも拘らず何に感じてか白い一重の櫻花が咲きました△院長は「ホウ!!これは珍らしい!!」と云ひながら其の小い枝を瓶に挿して來る人毎に見せびらかして居られます△序に今回六年振りに内地に行かれた太郎さんの手紙には「伊豆の景色はみな美しい、家の前には水道の水よりも清いれ川が流れてゐます……」

全羅南道唯一の住心地好き地

△康津小學校長 川上治郎先生談▽

◇貴下は曾て康津に行きましたか?私の學校のある康津は全羅南道一の棲み心地よき土地と稱せられた木浦に近き海邊にあります

◇あの古今島と莞島とを前に擁いた康津灣は昨今海水浴に最もよろしく灣の奥まりたる處にはまた長興川が流れて居ります

◇尤も灣内は遠淺の爲め木浦通ひの汽船は長興の外寄りませんが荷物を積む帆船は灣内深く進んで來ます

◇殊に此所の鯔は朝鮮に於ける名物の一つとも云ふべきで每日漁船一ぱい位の漁獲があります

◇また鯔、鱸の類も多く鰻は月に何百貫といふ大量を内地大阪方面に輸送して居ります

◇殊に長興川の鮎釣りは京城の人々に見せたい位ゐで初春の頃から晩秋まで掛鮎の遊びは非常に趣味深きものとして悦ばれます

◇康津は耶蘇の所在地として内地人の人口約四百、いろ〳〵な官公衙も備はつて居ますが殊に内鮮人の融和といふ點には朝鮮の何處にも比を見ないといふ話しであります

◇併しむかしは隨分和寇の爲めに苦しめられた樣子で邑内から六里程の靈巖山上の要子岩には當時の避難民が逃げ延びた跡があります

◇また康津から五里ばかりの海岸には往昔の高麗燒の窯跡があつて其處此處の畑には陶器の破片が山ほどころがつて居りますが今では完全なものは一つもありません

◇一昨年頃も李王職から技師の方が見ねて種々調査して行かれましたが何れも高麗燒の窯跡らしいお話しでした、併し此の地方の鮮人間には一向口碑にすらも燒物のはなしが遺つて居りません

◇近く馬木線道路がヨンデン岬まで延長すれば約十分間で木浦からの渡航が能きそれから陸路で便利となりませう

商況

東京株式特電

債券現物特電

公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

天候不良勝ちの中にも相場一同堅調にて…

●内地糖落付

●洋鐵氣直り 約三圓高を示す

●小麥は軟調 的に持合 尙當分勝觀

●麥粉は强硬 七圓六十錢へ一飛切 沙里院物

●蒟蒻粉崩落 せされば安値を出現

下關相場

各地商況

○大邱(二十九日の穀物)

○木浦(二十九日の穀物)

京城正米

十錢方安見當 十錢或は二

仁川現物市場

釜山市場

仁川期米

▲三十一日前場 十四錢安に入電

▲二節同事の移 一錢安に寄付

大阪六節九 十六錢と高移りに七錢と跳 激戰

市場寄閑

▲前場保合

▲存外買整勝

▲益買氣を刺戟

▲前場の手振

▲掉尾の活況

▲今筋大に買ふ 一萬五六千石

▲中限解合 千石の解合附 出來五百石

▲受渡し内容 八千四百石と空前 大受渡方

▲買方側と合意解合 受方は千二百石

▲成立

▲新甫内氣配 新甫は見送

▲正米活況 無鞘見當

▲手當米の買付を終り 係の値は高値を呼ぶ 地方の高

仁川米豆取引所

三十一日の九月限

北濱だより

▲鐵工株

▲鐘紡株突飛す

新荷著

HUMBER

輪界霸王ハンバー自轉車

久敷く品切の處今般入荷仕候間何卒御用命相願度御用の節は電話にて御通知被下候はゞ早速店員御伺可致候

京城永樂町二丁目

ハンバー自轉車
リアル自轉車
ノートン自轉車
アライヤンス自轉車 發賣元
天狗タイヤ
ダンロープタイヤ

神戸 合名會社 橋本商會 京城出張所

電話長一五七九 振替京城二七四一番

朝顔咲かすには肥しが大事

體肥るに次亞燐飲に限る

夏季

▲病ひ易き人 夏痩する人

▲貧血、多病、虛弱の人

▲肺病、胃弱、神經衰弱の人

▲産前産後病後疲勞の人

暑中の牛乳代用に適當

▲試用五拾錢 ▲小瓶八拾錢 ▲中瓶壹圓卅錢 ▲大瓶貳圓山

▲各藥店にあり

大阪 本舖 小西久兵衛 製劑部

朝鮮米 今延商店

京城南大門通五丁目 … 米

大阪堂島米穀取引所仲買人

月さらえに一日丸!!!

一日丸は

▲月經不順を……調ふ

▲月經不通を……通じ

▲月經困難を……治す

▲腑やく滲りたる人直ぐ試み給ゑ

▲實に能く効く……

諸病治療

衞專門 日影一三子

アンマ專門 伊藤シン子

京城旭町三 電話二〇七七番

會席御料理

暑中御伺

忠州錦町 末廣館

六十疊敷宴會場の設備あり

◆瀑聲滔々……十四尺の岩上より凄じい勢で落下し飛沫は四散して涼味森々たり

◆若葉青葉……綠蔭滴る林間客席よりは南山を始め北岳の連峰は一眸の中にあり

◆風味芳烈……なるサツポロ生麥酒と新鮮なる調理は何人の御嗜好にも適します

◆是非一度……御散歩旁御來車の上爽かにして心地よき樂園の涼味を味われよ

京城本町三丁目電話三六番

清香園

●赤痢病續々發生 平壤府千代町北川他計志は七月二十九日赤痢に… 平南孟山郡東面興食里申… 外五名は本年一月二十二日… 孟山郡德田面西林洞安京…

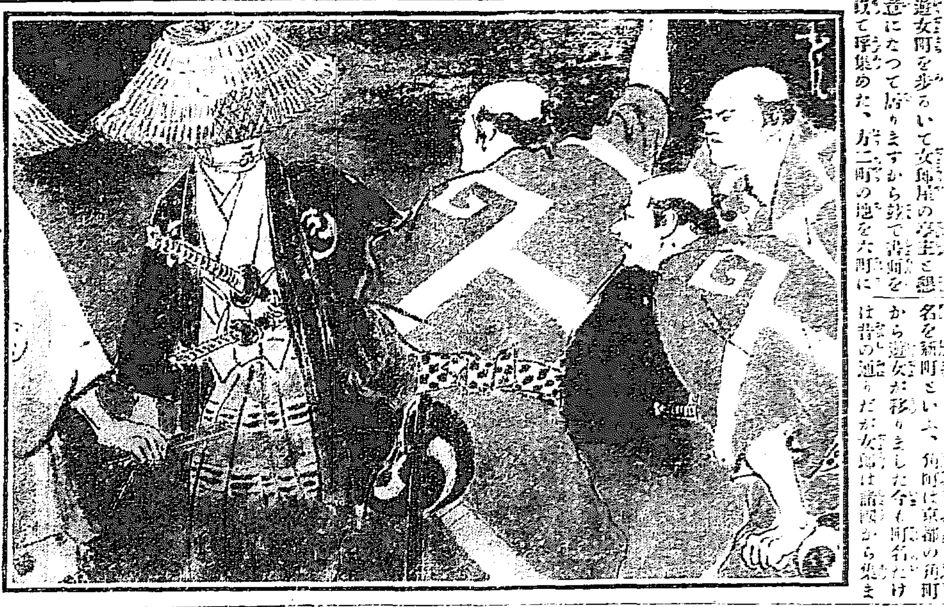
●連絡 入港高麗丸一二等客…

宮本武藏

第百十五回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

さて庄司甚左衛門の願書公儀御評定所に於て御覧の上聞済になり元和元年三月即ち只今の人形町其頃葺屋町と稱へました所方二町を限り下し賜はる甚左衛門大に喜び直ぐに地形普請に取懸り、同年十一月には出來いたしました、遊女は多く諸國から集めました之れは甚左衛門流浪中諸國の遊女町を歩るいて女郎屋の亭主と懇意になつて居りますから夫で諸國を以て呼集めた、方二町の地を六町に分けて總名を葭原といふ、後ちに吉原と改ためた之れは葭だの茅だの生茂つて居た所を切開いたから町の名にしたもので、さうして見ると狐の住むのも尤もでございます、今の吉原には猫も居る狸も居る、五十間の眞中へ馬肉屋が出來た、宛然動物園のやうで、併し變らぬのは町名、江戸町一丁目二丁目、京町一丁目二丁目、角町之れを五丁目と申します、其れから揚屋町といふのがある、之れは揚屋ばかり並んで居ります、其頃は女郎屋へ直接上つて客になるといふ事はない、揚屋へ行つて太夫を招んだもの、今では女郎屋を貸座敷といふが何を貸すんだか分らない、江戸町元は柳町と申しまして、江戸柳町の遊女が悉皆之れに移りました



江戸町二丁目には鎌倉河岸の遊女、亦は駿河の彌勒町、伏見の夷町の遊女が多く移りました、伏見町といふのは後世で、京町一丁目は京都六條の遊女が移りました依つて京町といふ、新町の遊女も後ちに此町へ住みました、京町二丁目は大坂瓢箪町奈良木辻などから遊女が移りました、一名を新町といふ、角町は京都の角町から遊女が移りました今も町名だけは昔の通りだが女郎は諸國から集まつて居る、中には樺太だの小笠原島だのつて大變な所から來て居ります從つて言葉が分らない、今に地名辭書でも持つて女郎買に往くやうになる、今の吉原は明暦三年正月の大火で元吉原が焼けて只今の地に移りましたのは世の知る所であります、尤も遊女にも此時分はエライ女が澤山あつた山本屋の勝山などゝいふ遊女は大した全盛

『御佛が三國一ぢやね申すまい
美酒勝山が借錢のたね』

といふ狂歌がある、一名丹前勝山といつて俠名を全町に唄はれた女乍ら武術の嗜なみもあつたといふ、庄司甚左衛門は吉原町總名主となつて大門口に住居いたしまして、法體になりました姉の貞淳尼と二人で老を養なつて居ります、諸侯の家來重立つた人達と交際して居る、今日は細川家の澤村才八郎を初め重立つた人々を四五人招いて煎茶會をするといふ、澤村が公用で參られぬから並木山田西村の三人が代理で行く事になり、宮本を案内いたしまして、庄司甚左衛門の宅へ參りました、甚左衛門も宮本には二三度逢つて懇意の間柄であるから厚く待遇、煎茶了つて後は酒肴を調へて御馳走をする、宮本先生も甚左衛門と話しをすると面白い、年は老つて居るし苦勞人だから何の話でも通じて居る、一日語り暮らしまして夜に入つた、三月十五日の事で櫻花も丁度見頃人の氣も浮立つ折柄で宮本は三名と共に庄司甚左衛門方を暇を告げて立出でましたが、並木「宮本先生此所まで參りました以上廓の景色を見ませんのも不粹一廻りいたしたいが如何でござる」武「其れも面白からう」三「其れでは御一緒に」といふので四人打連立つてブラ〳〵仲の町を歩るいて參ります、スルと其頃已に地廻りといふ奴が居りましたもので、旗本でも鶺鴒組、白吉屋組、鐵棒組、茶組、神祇組、白柄組などゝいふ黨派を組んで押して歩るく連中があつた、之れと同じく町奴の中でも唐犬組、金神組、雷組、稻妻組、などゝいふ組を造らへて、盛場〳〵を荒らして歩るく連中が澤山でございましたもの中にも吉原の地廻りで稻妻組の平九郎といふ男、乾兒の二三百人もある、いつ若を對手に喧嘩を吹懸け、幾干でも錢にしやうといふ好くない奴等で丁度宮本先生が揚屋町の角まで來ると向ふから稻妻組の連中十五六人一杯機嫌で遣うつて來た。

京城旭町一丁目四番地（旭町上る左へ入る）
外科 花柳病 皮膚科
内科 耳鼻咽喉科
島崎病院
電話二七三六番
院長 島崎龍一
診察時間午前八時より午後九時迄
手術室新設、隔離室、普通病室設備 入院隨意

京城本町三丁目（壽座南隣）
伊藤耳鼻咽喉科醫院
電話二二七七番
醫學士 伊藤 壓

八月二日九星
舊七月四日 辛未
本命五黄 八方塞 佛滅

▲五黄● 勘損となるを有日落付て新事見合 [illegible] ▲六白● 望の届く日 [illegible] ▲七赤● [illegible] ▲八白● 深入して迷惑せんさす [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四緑 [illegible]

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇 東京落語三遊亭遊三一行 [illegible]

御成座 御成町 電話一一九一 新派中村菜一行 [illegible] 全四場

黄金館 電話一八五二（階上）二六三七（階下） [illegible] 全三巻

わかさ
ファーザーを御用ひあれ 壹圓二十錢 京城黄金町三 電話二九四九 山田文殊堂藥房

文數御通知あれ
ゴム底靴 便利丈夫 經濟 學生、吏員、自轉車旅行運動、野球勞働用に適し足痛なく高評各階級に多大也
特價六拾五錢 中品七十五錢
前金送料四錢 切手代用不苦
錢返金す 小包時價
は相談に應す 特約店募集
資御照會次第御返事 振替
阪三六九●大阪松屋町通瓦屋町 大賞學

恐るべき花柳病
[illegible]
唯一丸（ゆいいちぐわん）
眼毒 良藥
[illegible]
本舗 中西莊吉
振替口座東京一千五百番

人參キャラメル
急告 滋養豐富なる人參キャラメルを常に召上る人は暑中の健康保全を保護す 内地土産及中元贈答品には體裁優美高尚にして保存に耐ゆる最好適品也 外出の際は必ず人參キャラメルを御携帶あれ 本品は至る所の食料品店皮菓子店に販賣し居れり

流經新藥レスノリン
月經 閉止經過四五ヶ月以内ニ應用ノ目的ヲ達シ其流經作用ノ確實ナルコト他薬ニ優越ス 藥價一瓶一圓 送料十二錢 切手代用一割増 說明書 海外卅錢 切手添申越進呈 大阪北區南分根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院 振替大阪三〇三番

マラリアに一番
ヨクキククスリハ
龍山林藥房製劑の
マラリア特効丸
ニセモノアリ御注意
本舗 龍山 林藥房
京城本町一丁目
代理店 山岸天祐堂

一、品質に信頼し、
二、効果に信頼し、
三、衞生と經濟とに注意し給ふ方は 皆
ライオン齒磨を
朝夕愛用せらる。
かくて眞の齒の養生を行ひ得るなり。

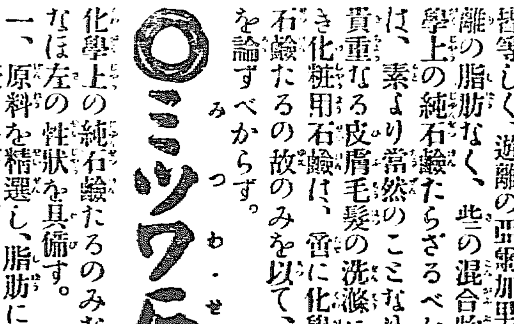
ライオン齒磨 ライオン石鹸 本舗 小林富次郎
新築營業所 東京本所區外手町
（-77-5）

ミツワ石鹸

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。貴重なる皮膚毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

〇ミツワ石鹸は

化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。
一、原料を精選し、脂肪に、香料に苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。
二、溫雅の芳香を有す。
三、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し。而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし。
故に、一般の家庭に於て、浴室、化粧用として、衞生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。



現品寫眞圖

種	類
大形家庭用	定價金貳拾錢
中形携帶用	定價金拾貳錢
小形旅行用	定價金拾錢
極小形旅館用	定價金五錢

技師 工學士 藤野太治郎

肝油ドロップス 〇 ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目 丸見屋商店 電話浪花長特 四四四〇・四四四五・八九〇番 振替東京一七一〇番

京城日報　第三版

京城日報

一日朝刊(夕刊と合せて八頁)

定價 一部金五錢 一ヶ月金七十五錢
發行所 京城日報社

京城日報 戰爭滿二年

歐洲戰爭の開始以來滿二年を經過せり。キッチナー元帥は戰爭の繼續三年に亘るべしと豫言したるが、其の豫言は彼れの生命と共に北海の水泡と消え去りぬ。戰雲未だ開く模樣もなく、慘禍の及ぶ所益々廣く、諸州の堂は雀羅を張るに似たり。歐洲は何の日にか平和の陽光を樂しみ得べきぞ。歐洲の大亂は今日に及ぶも前途の見極めだに付かず。或は獨逸の強大能く列國を惱ます事斯くの如しと獨帝の微笑禁じ得ざるものあらむ。遡つて思ふ、墺國塞耳維と戰端を啓き、次で獨露宣戰を布告し、佛國亦露國と共に獨墺を敵とし、英國は白耳義の中立が侵犯せらるゝや、猛然として起ち、故に歐洲は入亂れたる大戰亂の巷と化し、更に中途には伊太利、土耳古、勃牙利等の加はるあり。聯合、同盟の諸邦各々國運を賭して相對峙す。而して現下の戰局は、露軍ガリシヤ及び亞細亞土耳古に猛進し、英佛軍はアルベール、ペロンヌ戰線に於いて攻勢に出で、獨墺軍は總じて稍々守勢に變じつゝあり。若し此の勢にて進まば聯合國側は勝味ありと雖も、最後の決著は未だ測り知る可らず。最近一日に費やさるゝ交戰各國の戰費について、各國藏相の議會に於て明せる所によれば、英は約四千八百餘萬圓、佛は二千七百萬圓、露は三千百萬圓、而して獨は四千萬圓なりと云ふ。又過去二十四個月間に交戰各國が直接戰費として支出したる額を、米國の調査によりて示せば、英、佛、露、伊、白、塞の聯合國側の合算五百五十五億五千萬圓、獨、墺、土、勃等同盟側合算三百五十億圓、双方を合すれば無慮九百五億五千萬圓に上る。これ實に過去二年間の浪費なり。然り實に驚くべき浪費なり。斯くの如き鉅額の戰費を各國が支出せる以上、此戰爭は財政上より見るも到底永續は困難なるべく想察せらると雖も、英國を除く外は列國皆概ね不換紙幣の增發を以て戰費支辨の根源となすが故に、此手段の繼續せらるゝ間は、各國倶に倘ほ長期の戰鬪に從事するを得べし。戰亂二年、交戰列國の狀勢を見るに、獨逸は未だ巴里に殺到の素意を遂ぐる能はずと雖も、白耳義を略し、露領波蘭沿海地方を略し、敵をして一指をだも自國領土に染めしめず、獨は得意の色あり。然れども英國の成功は又遜色なきものあり。英は其の優越なる海上權を以て、其の大艦隊を率ゐて北海を封鎖し、獨逸が過去半世紀に亘りて扶植經營以て大成を期し得たる海上貿易を全滅せしめ、一方には最も重要なる南洋及び太平洋方面に於ける獨逸の利權植民地を占領する等、戰爭による損失を償ひ他方には、少からざる有形無形の利益を占め得しつゝあり。彼の白耳義、塞耳維、黑山國の三小國が、强國の餌食となり、國家亡びて國民は他に寄食し、國土は蹂躙せられて長く塗炭の苦みに泣くの慘狀は言ふに及ばず、此等の邦國を除きて最も苦痛を受けたるは我が佛蘭西國也。彼は此の戰爭の爲めに著しく人口を減少し、又最も主要なる地域を獨逸の爲めに占領せられ、爲めに生産的能力の蒙むる打擊は實に非常なり。佛國が敵手に委したる地方の人口は約九百萬人にして、總人口の二割三分に當る。此地方は佛國の織工業、金屬工業の最も殷盛なる地方たるべく、其の苦痛は堪へ難かるべく、佛國としては此悲境を排して獨軍を擊退し、其ラインの衛りを蹴破し去るまでは斷じて鉾を收むるに忍びざるならむ。英國の苦心も亦大なるものあり。其の貿易は輸入超過の逆勢に在り。加ふるに聯合諸國に對しては多額の資金融通の義務を負ふ。これが調達の爲めに彼は其の所有する外國證券を輸出賣却し、今や是等證券は漸く消盡しつゝありとして米國に向つて流出しつゝあり、斯くの如くして英國が多年誇りとしたる國際經濟上の中軸たる地位は漸く米國に移らんとす。之れ英の忍ぶ能はざる所たり。顧りて露國亦波蘭方面を失ひ、今日の優勢を以てするも、之が回復には尠からざる犧牲を要すべし。列國の形勢今後果して如何。英露、戰爭は無限に繼續すべからず。早晩は其の終局を見む。吾人の冀ふところ、切に聯合側に於ける終局の勝利にあり。恐らく吾人の希望するが如き結局を見るべしと雖も、戰後東洋の天地は如何ともあれ、

歐洲戰と北米合衆國(九)
日米將來の經濟的關係
勝田鮮銀總裁講演

が、工業の技術と商業の手段とに長ずる者の捲土重來によりて、大に現狀を挽回せらるべきは今日より覺悟を要す。我が日本帝國が最も難局に立つの秋は實に平和克復の後に屬す。從つて支那に對する方針の如き、今日に於て確立する所なくんばある可らず。徒らに小利權の爲めに相爭ひ、[illegible]

五 日米經濟關係
經濟研究會に於ける

記者曰く、前回まで掲載の分に續きて勝田氏は支那に對する列國の借款政策に關し、殊に米獨兩國の態度等につき述ぶる所ありしも其の内容は公表を憚かるものあり故に遺憾ながら省略する事とせり。從て左記の冒頭語は直ちに前回の所說を承けしものにあらずと知られたし。

▽日米關係の調節 夫れで此際日米の關係を如何に調節したら宜しいかと云ふことが重大な問題になるであらうと思ふ。然るに動もすれば今日までの日米關係は非常にデリケートなものであつて、一昨年私が亞米利加を通過した時などは、日米の間に戰爭が始まるのかと心配して居るといふ樣な次第で、又旅行者として亞米利加を歩く程不愉快なことはない。汽車で米國を素通りした人は如何か知らぬが、足を踏込んで亞米利加の風に吹かれた方は其の待遇の方法に於て甚だ面白くないと云ふ感を抱かれるであらう。そこで日本が海軍擴張でもやれば比律賓を取る魂膽ではないかと疑ひ、或は太平洋の制海權を取る爲めに脅かすのではないかなど思ふたりする。意思疏通の爲め澁澤男爵などが態々亞米利加に出掛けたり、色々印刷物などを出して居るが、二十世紀の今日の國際關係は、さういふ方法では解決はしない。詰り之は利益をもつて行かねばならぬ問題であるから、唯だ口先で仲良くしやうと云ふだけでは解決は出來るものでないと思ふ。又我國は人間で申せば未だ修養を積まねばならぬ時代であつて輕擧妄動を愼まねばならない。日本は餘程偉くなつた積りで居るが、却々さうではない。財力の點に於ては最も缺點をもつて居るのである。

▽轉進の好機會 そこで私はこゝらが即ち日米關係を一轉すべき好い時機ではあるまいかと思ふ。米利加が支那の借款に加入するとか、鐵道に投資するとか、若しくは金を供すとか云ふならば、仲間入をさせて共に手を取つて、彼等も儲けるであらうし、我も支那に於て利權を[illegible]せず仕事することが出來るであらうと思ふ。何人も今日支那問題を日本が獨力で解決し得ると考へる人はないかと思ふ。十數年の後はいざ知らず、今日に於ては米國の如き左樣なむづかしいデリケートな關係にあるものとは、斯かる場合に於ては他と良くして行く方が利益であらうと思ふ。これに就ては皆さんにも其の考があるであらうが、私は斯樣に考へて居る。私は甚だ口廣いことを申すやうであるが、今日が日本政府に於て米國に對する政策を定むべき適當なる時機ではあるまいかと考へて居る。要するに支那問題は今日までに最早研究を盡したのであるから、殘る所は唯如何にして解答を與へるかと云ふ點に在る。作併北米合衆國の問題は我國に於て本當に研究されて居らぬやうであるが、之は研究しなければならぬ重大問題ではないかと、私は考へて居るのである。(完)

郵貯九百餘萬

朝鮮總督府の所管に係る郵便貯金の七月末現計は人員九十一萬九千三百五十六人金額九百十五萬五千五百七十九圓にして人員金額共に新記錄を作り之れを前月末に比すれば人員に於て二萬二千餘金額十二萬四千圓の增加を示せり尚ほ七月末現計を內鮮人別に擧ぐれば左の如し

內地人	二三、六一八	七四一、七三四七圓
朝鮮人	六八、三三三八	一七三、八二二〇圓

乃ち內地人は一人平均三十一圓強に當り之れを母國の一人平均十六圓餘に比すれば殆んど二倍の郵便貯金力を有すと見得べく朝鮮人は一人二圓六十錢弱なり尚ほ內地にては銀行、會社預金利子低落の爲め之れを郵便貯金に預入する者多く其の斯率著しきも朝鮮にては未だ如斯傾向は現はれ來らず

□俳夜座

第二十六回(七月廿七日)

扇

たゞ待む人の死に來し扇哉　梧堂子
寄り合ひて興ある夜に扇哉　同
遊び戾りて机上に扇只あり　容堂
跡さと過ひて想起むる扇哉　同
ひよんで遊ぶく扇動くや夜の前　雉子郎

向日葵

向日葵に草に垣に道ばかり　由民
向日葵に雨と稀めて家居哉　同
向日葵や月出る迄の茄の閑　雉子郎
向日葵に垣を隔つる隣人　梧黄子
夜前竹や向日葵日に肥料取　青眉

蜘蛛

蜘散るや月妨ぐる夜の虜　青眉
留守の戶の干衣に宿や軒の蜘　山民
蜘落ちて鉢水動く色涼し　梧黄子
巢を作る蜘見てあれば山月　容堂

京日詩壇

女學　易水　湯原元一
一枝形管儀風流。才調文章是俊不。
雁名端雁紫翰歳樂偏顧有千秋。
假庵曰、近來女學生有才子風流者
多矣、然皆栞則千秋者果有幾人
寧所以有此一結也。
次韻斷渡邊西嶽　松齋　保利眞直
兩居金絕俗塵、縱橫文宜瞻遠韓。
正讀書終思眼。一室中看月仕凭胸。
還能雨中香。何心淡漓搖後松。
詩比何物。宛然秋水白芙蓉。
假庵曰、渡邊西嶽君頃日患眼乞治
于松齋醫博、得其神術稍癒。偶賦一
詩、歸博作詩之技亦足驚人。
題小笠原長生子爵邸洗旗池　火洲　牟田口
老槍千株護一碑。傍標猛將洗旗池。古
來勝境生名士。此地也與王者師。
香國曰、筆力周匝、三折竹者面始
能之。

日報歌壇

□夜の雨　英夫
何かわれ秘密抱いて夜な夜なを心
怖ぢつゝさまよひてあり。
夕燒が眞紅に映る雨の上に、焰の
雨が降つてゐるやうに。
薄汚れたわが下駄の齒に絡はりし
扱毛の玉のなか〳〵にとれず。
鮮人の茶化した樣な物賣りの叫び
聲など夢に見しかな。

日報俳壇

雑　雉子郎選

日沈む知らぬ蝸牛の動かざる　青眉
金魚呉れしまゝ來ぬ少女かな　同
凉しさの客も主も素足かな　同
五月雨や子を連れ來て泣く妹　同
干し物の葵花に興を入れにけり　同
城內の葵花の影動く餘花の庭　同
梅雨の山靜かに常の如くなり　同
塔婆誦の人影動く餘花の庭　同
幼き頃の戀守る身や虫干す　同
浴泉に人遊び疲れ夏の月　同
虫干や故人の戀の葉まし　同
改葬の事に土工や草いきれ　同
墓番の爺の頓死や瓜の花　同

一讀爽然應さに是れ銷夏の好伴侶

朝鮮公論

銷夏號
口繪六頁 京城日報社代理部 定價六十四錢 振替貯金口座京城三〇〇番
◎日露新協約と大陸發展……朝鮮公論社長 牧山耕藏
◎朝鮮の金儲……宇野技師
▽英國と重石鑛……竹下康之
▽朝鮮の鑛產物……川路區長
◎滿鮮政務統一の機熟す……朝鮮公論社長 牧山耕藏
日露協約の經濟的價值
南大國の提携と世界政策……大養木堂
現代青年戒(一)
清風明月夏の讀物
夏の國境
名士の夏
肉の女三人
夏の食物……大西我堂
藝妓に眞の戀あり……高野、白土、猪原、安藤の四梓士
回想譜(二)……君川手記
毎月一回一日發行 一冊廿五錢六冊一圓四十五錢十二冊二圓八十錢 郵稅一冊一錢五厘
購讀申込所 京城太平通二丁目 朝鮮公論社 電話四〇〇〇 振替口座京城一五七七番

特價發賣以來其完全無缺なると活動家の携帶品として至便なる點に於て到る處最高評を博し豫期以上の好成績を收めたれば聊か謝意を表する爲め五千本を限り特價六十四錢
萬年筆 タイコー

銷夏の好讀物 婦人の好伴侶 家庭の羅針盤

大陸婦人界

八月號出づ
◎殖民地婦人雜誌界の女王(發行以來毎號賣切れの大好評)
口繪
子供の家庭教育
殖民地成功者と內助の力……大陸婦人界社 朝鮮公論社長 牧山耕藏
露ちやんの話……石森胡蝶
婦人の天職と使命……仁濺
殖民地と子女の躾け方
女學生の貞操觀
晩婚と早婚
子寶
家庭訪問記
學校を出た女
小說 體温器……きよ子
在鮮名流夫人の面影
好きな夏の食物
令孃通信
教會巡り
八月の獻立表
飯盛日記
夏と小兒の衛生
出來る事なら お茶やお菓子を出さないこと 時間割の樣なものを實行したい 書生さんを世話したい
一冊廿錢 半ヶ年一圓廿錢 一ヶ年二圓四十錢
購讀申込所 大陸婦人界社

京日案內

普通 番外
配達人數名至急募集す希望者は本人來談あれ但し市內確實なる保證人を要す 京城明治町 町田新聞部 558
◎刺繡教授 本町四丁目 まるき
▲ホネツギ うちみくじき治療 電話二五九五番 荒川仁壽堂 644
◎開店 古本買受 京城本町三丁目 東京堂書店 681
◎古本雜誌高價買入 ◎是非御試し 御報參上 本町四 書肆 637
◎水泳用浮袋 實用保證 京城府龍山元町二 長谷京城東星洋品店 522
◎松汀里光州間自働車 凡ての列車に聯絡す ▲光州自働車合社
理髮館讓る 十錢月收百圓內外 年經營上流得意多數 歸國に付至急讓る 龍山にて有望地家賃二十圓五ケ月下盛業中 565
鑛山經營 重石買入 金石商會 京城鍾路二ノ九九 560
見習看護婦入用 但し市內に確實なる保證人を要す 京城旭町一丁目 島崎病院 563
外勤社員採用 年齡三十歲以上 內に確實なる保證人を要す 大同生命出張所 562
福岡日日新聞支局 557
天然氷 武萬貫 566
志岐組 在庫の儀賣却 電話三〇五番 537
廣橋自働車 京城春川間 每日午前八時出發 647
恩給 年金 遺族扶助料 貸金 694
山口屋
鑛物分析 金石商會 559
鑛山測金 京城太平通二ノ一二五 523
分析 鑛物各種 坂元分析所
鮮語講習會 自八月一日至九月十日 午後三時 535
鮮語科 英語科 京城青年會 536
代診生募集 注連內齒科醫院 551
はねつぎ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 564

京畿道視察の爲め廿八日來京廿九日中原、長永果樹園其他種苗場等を視察せり▲組合授業料規程 慶北に於ける明治神宮獻金は十圓坂本俊資氏を始めとし小計二百五十二圓五十錢累計千零七十五圓十七錢……

◎英船長銃殺取調

英國外相グレー伯は二十九日在アムステルダム市ロイテル通信員が報告せる英船ブラッセル號船長フライアット死刑執行に關する獨逸公報に關し駐英米國大使の注意を乞ひ且つ曰く一船長たる者が獨逸潜航艇に襲はれ而も潜航艇を撃沈するの手段に出で同時に人命を無視して警告をも與へざりし際船長が船內並に乘員全部を救ふ手段を執りたるが爲め獨逸に於て射殺せられたりとは到底信ずるを得ず獨逸政府にして捕虜英人フライアットに對し此の種の罪過を行ひたりとせば事件は極めて重大なる結果を生ずべし故に其眞相を得んが爲め同大使の手を經て伯林に於て至急調査せん事を依頼したり（倫敦電報）

◎獨帝命令遂行不能

ピカルジー前線に於ける英佛軍の形勢は益優秀にて獨軍司令官フォン、アイネム將軍は如何なる犠牲を拂ひても英軍の前線を退却せしむべしとの獨逸皇帝の命令に從ふ能はざる形勢と爲りたり（巴里電報）

◎獨軍迎撃戰失敗

ヴェルダン方面に於ては最近數日間に亘りて殆んど歩兵隊の活動を見ざりしが七月二十九日に至り獨軍は佛軍最近の前進に對し猛烈なる迎撃戰を行ひたるが終に其の効果を奏せざりき（巴里電報）

◎首相參內

大隈首相は三十一日午前十時參內天皇陛下に拜謁被仰付內外重要政務に就き委曲伏奏且つ御下問に對し奉答するところあり十一時退出永田町の官邸に入れり（東京特電）

◎山縣公爵入京

山縣公は家扶二名を隨へ三十一日正午小田原古稀庵を出で電車にて國府津に赴き午後一時發列車にて上京同三時六分東京驛着自動車を驅つて直ちに目白椿山莊に入れり（東京特電）

◎松方侯爵參內

松方侯は三十一日午前十一時參內天皇陛下に拜謁仰付けられたる後皇后陛下の御機嫌を奉伺し終つて波多野宮相に面談正午過退出せり（東京特電）

◎五博士の渡米

學術研究の爲め歐米に出張を命ぜられたる田代義徳、芳賀矢一、稻垣乙丙、斯波忠三郎、岡田和一郎の五博士並に岡田博士令孃和子の一行は三十一日午前五時半東京驛發列車にて横濱に至り午後三時横濱解纜の天洋丸にて渡米せり（東京特電）

◎當局の水電調査

前後數年に亙り遞信局にて調査せし鮮內河川水電調査成績は過般全部浄書の上寺內總督の手許に提出し其の閲覧を需めつゝあるが遞信局は該書類の總督より交附あり次第其の一部を公表すべしと

◎沿岸燈臺建設

伊藤海事課長談

本年度遞信局に於て朝鮮沿岸に建設すべき燈臺及び霧砲は左の五箇所にて八月一日光濟丸は仁川出帆各建設地に材料及び人夫を送りて直ちに工事に着手し今秋までに何れも竣成の豫定なり

▲山地燈臺　全南濟州島に於ける山地港は樞要なる港にて定期船の寄港漁船の往來頻繁なるに拘はらず海上より展望すれば附近の地勢混淆として一の好目標たるべき地物なきのみならず潮流急激なるを以て夜間入港せんとする船舶は困難と危險を感じ沖合は濟州海峽にて內地より北東に通ずる航路なりよつて本港にアガ式閃光燈臺一基を築設す

▲鳥島燈臺　慶南の鳥島は彌勒島と相對して鳥島水道を形成し釜山統營又は鎭海方面より麗水木浦方面に至る要路に相當するが附近の潮流激甚にして水路狹隘夜間の船舶航行危險なれば鳥島の北端に同じくアガ式閃光燈臺一基を設くる事となれり

▲栗島燈臺　全南外海より木浦に至る航路の衝に當る栗島は附近一帶島嶼及危岩多く水路屈折加之潮流烈しく船舶危險に付アガ式燈臺一基建設の事となれり

▲梨津挂燈立標　成北梨津港は該地方の要港にして出入船舶頻繁なるに港口狹隘且つ岩礁羅布するを以て危險にして船舶は夜間出入する能はず港外に假泊して黎明を待つの現狀なるにより該岩礁の外端に挂燈立標を建設し出入船舶の便に供すべし

▲巨文燈霧砲　巨文島は內地と朝鮮西岸及び北支那との間を航行する船舶に對し樞要なる地點に當るを以て先に燈臺を建設し通航船舶に便せしも該地方は夏期濃霧の襲來頻りにて爲めに航行船舶の危險を感ずる事屢々なるを以て更に同燈臺に霧號を設け霧中航行船舶の安全を期すべし

◎製綿紛擾問題

重役の拜倒運動

朝鮮製綿株式會社が去る二十八日午後二時より京城商業會議所樓上に開會したる臨時株主總會にて端なくも重役に對する不信任問題より九時間の長き間大議論を鬪はしたるも遂に終結を見ずして流會となり散會したる事は不取敢當日の紙上に報せし如くなるが其後重役等は株主側の意嚮に佛氣の立ちたる爲か同社の取締役たる關繁太郎氏は二十九日午後七時半より前日總會の席上に於て株主側の選擧したる佐野彥藏、小野萬平、北野善造、高木德彌、安森孫兵衛氏等五名の

▲委員を千代本に　招待し兩者の間に圓滿なる調停策を講ぜんとせしも佐野、小野、北野の三氏のみ出席し關氏より株主總會流會に關する今後の方針に就き懇談する所ありしも何んとか其善後策はなきものにや若し出來得れば諸君は總會を代表せる委員として拂込金及び脱脂綿等に對する株主側の承認を得たしと希望を述べたるに委員等が自分等は株主の一員としての承認は與へ得るとするも總會を代表せる委員としては只今即答の限にあらずとけんもほろゝの挨拶を爲せるため折角の

▲調停策も水泡に　歸し同夜は散會したり而して株主側の反對意見も千差萬別にして數へば同社が前年度にありては二回の失火に遭ひ多大の損失を來せしに拘らず相當の成績を擧げ得たるに反し本期に於ては普通事業を繼續しながら既に二千圓の損失を來し居るは重役無能の致す所なりと云ひ又は脱脂綿引受運動のため重役連の東上費等に多くの費用を支出したるは不都合なりとも云ひ居れど要するに外國品の註文を引受くる程の大事業を遂行するに當り株主に一應の相談を掛けざりしことが重役連の大失態にて

▲株主の感情を害　したるものゝ如く何れにせよ今回提出したる十圓の第二回拂込を行ふにあらざれば左なきだに振はざる會社の事業をして一層不振に至らしむる次第なれば早晩兩者の間に何等かの接衝點を見出し調停を行ふより他に良策もなきが如し尤も株主中には第二回拂込に對しては潔く之を拂込み重役連の不法行爲に對しては何處迄も讒責し同時に此機會に於て社務の大刷新を行ふの必要あるべしとの說も出で居れば早晩調停成立と同時に必ず同社の一大革新を見るに至るべきか

日露貿易と朝鮮

戰後の用意を怠る勿れ

鮮銀調査役　股野貫之氏談

▲日露貿易の前途　浦鹽を經由する日露貿易は昨年來非常に盛んである、併し此の盛況は根抵深く戰後迄も續くか怎うかは聊か疑問とせなければなるまい、露西亞は今日の所需多の商品を日本から買はねば致し方がないから買ふので特に露人が日本商品に嗜好を持ち又特色を見出して購買するのではないと云ふ見方は公平である現在では浦鹽に商品を持つて行くと何でも賣れる從つて浦鹽邦人間の景氣は可なりよい唯其の對價として受取つた留の處分が仲々困難だから日本商人の苦慮を費やすのは玆にあるけれど相當收益は擧つてゐる乍併愚見では邦商は此際吾が商品の賣込みを戰後までも永續させるやうに勉勵努力するの必要が多々あると思ふそれには關稅協定も必要であるし粗製品を送らぬとか露國の商習慣を研究して精通するとか信用を重んずるとか露人の嗜好を一層研究するとか色々あるだらうが兎に角刻下の盛況に醉はず戰後に對する覺悟をよく研究せねば延ては槿花一朝の夢を歎ずるやうな時代が來はせぬかと思はれるのである

▲邦商の實力增加　浦鹽邦人間に景氣は宜しい從つて在留日本人も殖ゑる一方だ仲買人も仲々入り込んでゐる然し此頃喜ばしいのは其の顔觸れが段々眞面目になり確實になつた事である開戰の初期から昨年までは隨分素寒貧や彌縫ゴロ的の人が入り込んで來て自分で注文をとつてはすぐ內地に引返し他力によつて商賣をしやうとする人が多いやうであつた所が此頃は大倉三井久原高田など云ふ巨商は勿論信用と實力のある實業家の手先きが駐まつてゐる其內には單純な仲買もあり掛取りもあり更に浦鹽の露商を經由せずと直接に取引を開始しやうと目論見を立て其調査に入り込んだやうな人もある如斯要するに吾が對露貿易の當事者は漸次改善はされつゝあるが尙ほ前途の如く其の前途の必らずしも樂觀し難いのは甚だ遺憾である予は宜しく官民一致以て此の現狀打破策を講ずるの急務なるを繰返したい

▲鮮露接近一策　陸地の隣接してゐるに拘はらず朝鮮對露國の貿易は遲々として振はぬ昨年來朝鮮より軍需品の供給が可なりあるから貿易數字は上つてゐるけれど之れを常例と見る譯には行かぬ何故鮮露貿易は振はぬ乎鮮露の間に彼此相通ずべき品物がないのであるか交通不足な爲めである乎其れもあらう然し全部ではない予は鮮露兩國民の間に理解と融合の薄いのが其の商事不振の最大原因と考へる內地でもまだ其慶賓例は多い例ば鯨臘の如き露國に珍重さるゝものとは內地商人は思てゐなかつた所が最近に至り高價藥品として露西亞に非常に需要さるゝ事を發見した如斯例は露の間に決して少なくなからうと思ふて予は此の缺陷を補ふ方法として鮮里民の來往と相互國情研究の必要を唱へたい分けて朝鮮在住の士に露國人の來鮮した時は快く旅行させ又快く滯在さする方法を執つて戴きたいのである

▲精米供給の注意　朝鮮米の露國軍需供給計畫は京城日報によつて知つたが結構の事と思ふ唯供給者の注意すべき事は精米の中に『米の蟲』を生ぜしめぬ樣注意する事である昨年以來大倉と三井が軍需米の供給を企て而して失敗したのは此の米の蟲の爲めであつた精白不足とか糠を含んでゐるとかは素より程度にはよるが露國官憲の眉を顰めしめても結局受渡しは可否に迄は行くまい、唯『米の蟲』の發生は此の受け渡しに必らず悪影響を與へねば止まないのである、尙ほ邦人中には露人米食嗜好の程度が幼稚だらうと云ふ說もあるさうだが露人の米に對する嗜好は仲々侮り難い、曾て予はペトログラードに住みたる時自家食用として携行したる白米を切に露人に乞はれ忽ち賣り盡した事もあつた位で此方面は思ふに足りない

◎古川鑛業の近況

古川鑛業會社が平北龜城にて經營しつゝある金及び鉛の鑛山は最近新式の精錬所を完成し其の採掘を盛んに行ひつゝあるが主產物たる金の產量は姑らく措き鉛は輸入減を加へ內地朝鮮共其の產額少き爲め戰亂以來騰貴し百斤十五圓を唱へ居る現狀なるが同鑛山よりは一箇月二十萬斤以上採取され更に十月よりは三十萬斤の採掘を見得べしと

◎京城送貨と列車

京釜線大邱を初め院洞、慶山、倭舘、密陽等より京城へ輸送せらるゝ生果及野菜は時節柄毎日十臺以上の多量に上り時に列車に積殘し等の事あり不便を感ずるより八月一日より貨物十噸以上に及び中間列車に積殘し等ある場合には釜山午後十二時半發京城翌日午前六時着の七列車に特に一車增結し以て輸送を完全にする事と成れり

◎下水の國庫補助額

京城下水溝の設計に關する工事並に其補助金下附の申請書は曩に京城府より道を經て總督府に提出中なるが補助金の內容に就ては不明なれども國庫補助金は總工費の約三分の二を申請したるものゝ如し而して總督府が協議會員の希望を容れ果して第一期二期を通じたる百九十萬圓に對する補助金を來年度の豫算面に計上するや否やは疑問なれども何れにせよ近く認可の指令に接するなるべしと

◎趙重應子元山着

三十一日午前九時三十分南大門發列車にて金剛山に向ひたる子爵趙重應氏の一行は同日午後四時四十三分元山に着したり

南言北語

昔は親の仇を狙つて天にかけり地に潜むもヤハカ其儘に濟くべきかなんかと云つて居たが▲今頃じや自由自在に天を飛び廻りモグラも跣足の樣に地中を潜る人間業が發達したので親の仇なども何處へ行くかも分らぬ▲獨逸や墺太利では四面敵の包圍を受けて何うすることも出來ぬから伯林から維納やブタペスト君府への空中往來を始めて飛行機が定期航空をやる相な▲聯合軍もヤハカ其儘捨きもすまい▲もぐると云へば亞米利加へもぐり著いたドイツエランド潜航艇も愈々歸國すると云ふ▲英艦が其奴を覘つて居る處はまるでナイフを振上て鼠取の蓋を開ける樣なものだ▲氣合ひを計つてバット飛び出す鼠をうまく一と思にやつ付ける事が出來るか何うだか▲存外好く調子がゆかぬものだ▲と思つて居たら他の大きな鼠が引つかゝつた▲此奴は自稱商船の潜航艇ブレーメンと云ふのだ▲性凝もない獨逸だからまだ〳〵もぐらすに相違ないから片つ端から捕へてやれ▲日露戰爭の當時黒鳩公將軍が野砲の豫備砲彈十五萬發を發射したと云ふので露帝から譴責せられた事があつたが▲此間シャンペーニュ戰で佛軍は野砲百萬發重砲十五萬發を射て居る何と隔世の感があるぢやないか▲某軍人の話▲同志會の安達總務の手許へ田舍の代議士から『火のなき煙とも見ねず內閣の更迭事實なりや』と云ふ電報が來た▲安達君早速『煙く勿れ火にも幽靈の火あり水蒸氣も煙と見ゆる事あり』と返電した相な

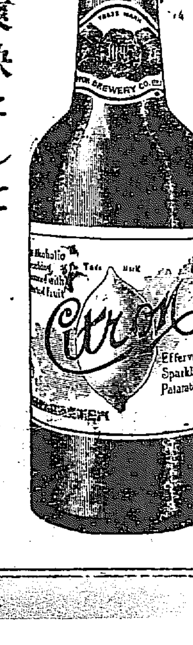
鮮……▲高橋貝辭任　群山商業會……ありて辭意固きものゝ如くなる折柄……見せられ益々發展せんとする群山の……

……元……全州に向ひ出發せり……

……たる結果可決せる豫算を見るに經常……收入六千二百五十八圓二十錢臨時收……

……月三十一日より八月十九日まで咸興私立商業普通學校內に於て開催さる……

……光……下落即ち二……七十錢を保ち居れり……るもの有りて漸次蔓延せしものなら……屬と共に該地に赴き敷地選定建築物……



品質を吟味せられよ

是からの暑氣に

健康を欲せらるゝ家庭は

蒸溜水を以て製造したる

清涼爽快にして

最高の信用ある

リボン印シトロンを召上れ

■シトロンは近時類似品頗る多し當社の製品はリボン印の■

■肩貼りあるものに限り候間御用命の際特に御注意を乞ふ■

TRADE MARK　ゾロトシ　シボリ　DAI NIPPON BREWERY CO. LTD TOKYO

資本金　壹千貳百萬圓

製造元　大日本麥酒株式會社

懸賞賣出

A

新製品

朝鮮の地質氣温濕度を研究して產れたる

スパルタタイヤ中袋付

マーキユリータイヤ中袋付

ビリツケンタイヤ中袋付

一景品及金額　ウオルサム十二型金側懷中時計三個金貳百四拾圓外約一千五百點總金貳千壹百圓也

一發賣數量　中袋付タイヤ壹千五百對限り

一賣出期間　自大正五年七月至十一月五個月間

一品質見本、定價表、景品方法御一報次第無代進呈

御披露

角一商店

京城南大門通二丁目廿五番地

電話六〇九番

振替口座京城三二四三番

幼年の友　ナツヤスミ號

出でたり　夏季增刊

▲給がうつくしい

▲意匠が珍らしい

▲子を思ふ親御へ

▲弟を思ふ兄上へ

▲妹を思ふ姉上へ

着せ替え人形

一冊十二錢郵税五厘　半年分七十八錢

實業之日本社

東京京橋南鍋町　振替口座三二六番

[illegible]にして其後議員會に於[illegible]
て留任勸告委員七名を選定し委員等
は交々兩議員に向つて留任勸告中な
るが兩議員共各々辭任理由の存する

[illegible]斯くの如く新舍[illegible]所の減少して
幾許も無く議員の辭任相次ぐは何等
か其間に暗流の漲れるもの丶如く想

[illegible]土木事業調査の爲め二十七日來群
一泊翌二十八日午後自動車を驅つて
出迎の爲め來鮮せる李道長官と同乘

[illegible]建築に關し[illegible]
十九日午後一[illegible]後より開かれたる評議
員會にて右査定案に就き審議を重ね

支出[illegible]
[illegible]百十六圓合計七千九百五
十六圓五十五錢なり▲夏期講習會
咸南各私立學校教師夏期講習會は七

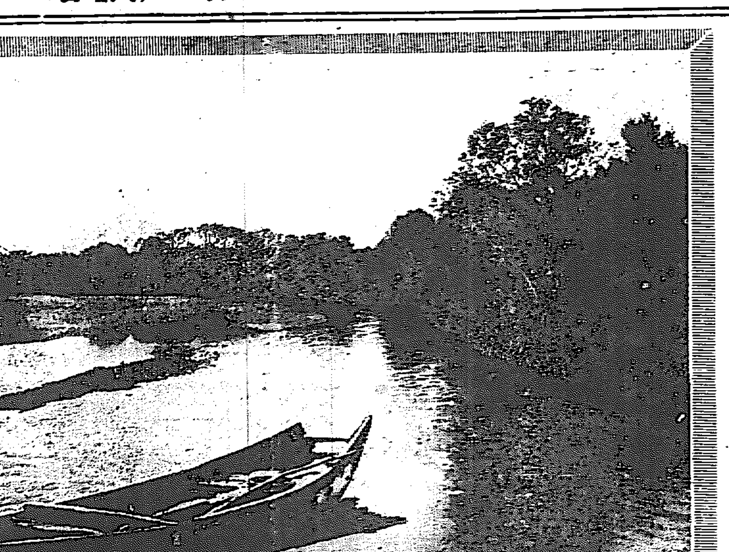
[illegible]
入るを見たり三圓一二十錢を唱へ居た
る同時頃は去月二十日頃を以て內地二
番肥料の一段落に因り目下五十錢の

[illegible]
目下極力之が蔓延を豫防しつゝあり
病系統は一時九分地方に流行せしこ
とあれば多分[illegible]桐葉の內之に罹れ

[illegible]鹿島に建築すべき慈惠醫院[illegible]蓉川組
にて二萬圓を以て請負ひ居たるが道
路より近藤地方主任總督府より出張

[illegible]八月
は來年一月なるべし
工事を[illegible]

水のほとり　……清凉里……



●石器時代の古を訪ねて　―4―

豆滿江沿岸觀察

北鮮の遺蹟地は極て大規模で日本は恐らか世界無比であらう　八木李王職囑託談

要するに豆滿江沿岸で此岸に遺蹟のある地點には乾度彼岸にもある其れは此岸が平坦であれば自然彼岸も平坦で昔も今も人の棲居とするに堪ゆる處であるからであらうし自然遺物も其様な處から發掘される譯なのであらう――會寧より淸正が富士を望んだと稱せられるのは恐らく此山であらうと云はれてゐる間島富士の裏側は所謂洞と稱して

▽廣大な遺跡　地てある江に臨んだ地點は水に崩壊して土砂は遺物を含んだ儘河中に落ちてゐる試に河端を掘つて見たら地中から砥石石器、土器が出で夫れ等と一緒に宋の徽宗崇寧時代に鑄造された崇寧重寶（折二錢）が出て來た土中五尺も深い處から出て來たので一寸不思議に思つたが石器時代のものとは全然別物だらうと思ひ研究した末今の様に上部の遺蹟地の土壌崩壊の際混落したもので

▽崇寧重寶は　全く後時代のもので石器とは全然別物である事が判明した一體此遺の包含層の厚さは淺くて一尺二三寸深くて二尺二寸止りである其間に石器時代の遺物が出て來其下は砂若くは他の土砂、粘土などの層があつて更に遺物はない此岸の日本側は掘つて見なかつたが恐らくは同様のものであらうと思ふ要するに湖岸遺跡と云ひ山地遺跡と云ひ

▽其先住民族　が疑つてゐるとか時代の新古などは見わないけれど大抵同時代のものらしい只出發前に北鮮地方の遺跡地は打製品のみ出す處と磨製品のみ出す處と打製磨製混淆して出す處と遺蹟地を三種に區別する事が出來ると考へてゐたが事實は何處でも打磨混淆である事を發見した只其混淆の分量は日本などと違ひ十中七八迄磨製品で丁度日本のと相反してゐる又

▽日本遺蹟地　では土器が豊富で其模様の意匠亦變化に富んでゐるが朝鮮のは土器が鮮い許りでなく模様の見るべきものも鮮ない、北鮮の遺蹟地は小でも八九町大は一里に至る磨慶大遺蹟地は日本はおろか世界中にも例が無いであらう全く珍奇の場所と稱すべきである併し又場所が大いなる丈けに其保存や又は

▽全部の發掘　など之を完全に施さうと云ふ事が不可能となる即ち之を完全に施行せんとするには現在住民の居所が無くなる譯だ新法規に依つて之を圍ふ事とするなれば勢ひ住民を他に移住させ無人境とせざれば其完全を保し難い他地方は兎も角此地方は保存上餘程困難の土地と稱すべきである（完）

◉帝都洪水後報

城北一帶危險刻々迫る

連日の豪雨は三十一日に至りて全く晴れ土用日和となりたるも濁水滔々として城北一帯の地を襲ひ午前八時千住大橋下は一丈二尺の増水を示し正午に至りて一丈二尺四寸に増水し危險刻々に迫り來るより前夜來徹宵警戒に從事せる千住警察署々員は橋上の通行を禁止し各所に救助船を出し避難民の救護に努め一方吾妻橋通川の増水約五尺餘に達し向島堤外地は全部水に沒し濁浪隅田川を逆巻き來り更に山谷堀河岸に逆流し今戸、吉野、田中、橋場の各町に浸水せる爲め町民は何れも日本堤に避難し雷門以北の電車は運轉を中止せり斯續大増水の模様にて滿潮との關係上午後八時頃は最も危險を豫想すべし（東京特電）

◉彈藥工塲爆破

死傷者約百名に達す

米國ニユージヤーシー州コンムニパウレ附近のナショナル、ストーレージ會社工塲爆破せるが其の公報に據れば彈藥爆發の爲め生じたる死者は恐らく二十名以上に達すべく負傷者七十五名は病院に收容せられたり附近數哩に亘る地方は恰も地震の如く震動したるが原因は榴散彈より發火したるもの丶如く之に因り破裂したる小銃は極て多量のダイナマイトを爆發せしめたり尚窓硝子の破壊したる假額は數百弗に上れり對岸のエリストウ移民省建築物も亦破損し數百萬弗の損害を受けたり（紐育電報）

◉支那飛行家來

阪本星野兩氏の動静

櫻間義行と變名せる支那飛行家は今回米國より歸入の飛行機受取の爲め七月三十一日鄭船西京丸にて青島より神戸に向へり其の談に曰く日本民間飛行家阪本、星野二氏は今猶青島に在り二臺の飛行機は濰縣に運びたるも未だ組立を爲さず其儘拋棄し居れりと（門司特電）

◇連れ衆の名前？◇

漢陽公園に美人散歩の事

回東拓の林一條居士が毎朝露深き漢陽公園に散策の杖を曳く事は隠れも無い事實であるが、其居士が公園に行き着くと孰が先とも無く落合ふ二人連れがある、島崎、村上の兩醫師で互に電話で起し合つて公園で落合ふのだと云ふ。一體醫者の不養生と云つてお醫者さんで朝の散歩などする人は捜しても見當らぬ世の中に此二人は復お醫者さんらしくないお醫者さんである。

回昨朝も例の様に三人漢陽公園の出端に落合つて邪のない世間話など語りあつたりして居ると一天俄かに掻き曇り沛然として驟雨が襲つて來たので三人は茶屋みかさに驅け込んだ

◉強盜團に襲る

去る二十四日午後十一時頃大邱府外沙河口舍鄭家屯煉瓦工塲苦力頭鄭日用品小賣店胡本大方へ十數名の強盜襲來し寢室の窓ガラスを破壞して六名侵入し他の數名は戸外に見張りをりしが矢庭に本大を後手に縛し上げ金を出せと脅迫したれば本大も已むなく金の在所を敎へたるに其金を強奪したる後尚も飽き足らで一名は鐵鎚製の短銃を本大の胸部に突付け他の一名は長五六寸の短刀にて大腿部を刺し金を提供せよと威嚇したるが最早や餘金なければ衣類なりと持去れと答へしに賊等は衣類四包を奪ひ歸く殺すぞと捨臺辭を云ひつゝ悠なさ北側炊事塲の出入口より北方に逃走せるが二名の兇器を持てる外の四人は皆棍棒を所持し二十四五歳より三十歳位の散髪支那人にて無頼漢らしき風なりと（大邱）

◉發狂して自殺

件は某子商家の支配人

京城観水洞生れ高陽郡崇仁面新設里金洪善方居住米泰根（六○）は三十日午後一時頃同家の溫突内にて苛性曹達を服用して苦悶中を發見され臨急手當の上笠井町居住の長男米益成が駆付けて引取り總督府醫院に入院せしめ加療中なるが長男は菓子商家の支配人をなし相當に暮し居れるも泰根は放浪生活を好みて酒癖惡く家族等を同棲するを忌みて二三箇月以前無斷家出して前記金洪善方に身を寄せ長男より毎月白米二斗宛の支給を受けて暮しゐたるものにて同人は豫て發狂の氣味ありたれば是れが爲め自殺を企てしものなりと

◉巨岩に打たる

去る二十一日午前四時頃の豪雨にて平原德川郡々武面長安里在の長安山南部の中腹に突出せる岩山に割れ目を生じ一間四方大の巨岩二十餘丈の高所より落下し麓の洪鐘欽（八五）方を押し潰し熟睡中の鐘欽は之に壓せられて無慘の即死を遂げたりと

回●●みかさは淸水席の一奴の老爺さんが遣つてる休息所で三人は通り雨の過ぎるを待つ間天幕内の床几に掛けたところが其處に矢張り雨に追はれて驅け込んだ二人連れがある。一人の男は明晳皓齒頗る付のハイカラで浴衣の著こなしも巧みに雪駄穿の様子からその日本風の洒落れた姿は兎もすれば朝鮮人とは見わない位。連れの女は漸と十六七と外見わないが風姿楚々として薄色の羅羅にも堪へ兼る様な朝鮮美人、髪は朝鮮風に結つてはゐるが前髪の辺を雲の如く縮らせてハイカラ振りを示し束ねた毛髪を翡翠の簪で止めた意氣振りも風情を添へてゐる

回其二人連れは茶屋の主人に挨拶すると其儘奥の間に通つてしまつた。

◉地中から器物發ける

京畿道驪州郡州内面弘門里居住飲食業黄哲顕は本月初旬庭前壁土を採掘中地上より深さ二尺五寸餘の所よりサバリ二十六個小皿四五個湯呑二個碟一個を發見せり同所は元畑地にして今より七年前同所を距つる約二間の所より埋藏物を發掘せしことあり同所附近の來歷を調査するに同所は今を去る五百年前郡衙趾なりと稱する者居住せしことあり官運動失敗の結果奉還中逆賊となり死刑に處せられ家屋墳墓等を破壞せられたりとの傳說あり尙道が同地に居住の際埋藏せるものなりと云へり

◉船遊中溺死

京城茶屋町人力車夫朴仲業（三二）は二十九日午後五時頃漢江にて船遊中誤つて河中に墜落して溺死せり屍體は憲兵出張檢視の上遺族へ引渡せり

◉預り品を入質

群馬縣山田郡相生町生れ京城本町一丁目田代方同居帽子職工靑柳芳松（二五）は本町二丁目小林氷店の二階を借受け居住中附近の海老原某より預り居れる帽子二十個（廿八圓）を全部橫領して入質したること發覺し本町署に引致さる

◉雷に打たる

高陽郡碧蹄面沙峴里農宋佑錫（二七）は二十七日午後五時四十五分頃同面官山里より雷雨を冒して歸途村外れの路上にて落雷の爲め感電して慘死せり

◉通行中震死

全北扶安郡東津面耶吉里居住林光春（二八）は去る二十八日午前十一時頃同郡扶寧面内斗里村路通行中落雷に打たれ人事不省に陷りたれば所轄駐在巡査は早速醫師を伴ひ現塲に赴き應急手當を施したるも効なく同日午後四時死亡したり

回『何者だらうねエ一體』此質問と同時に呆然とした三人が顔を見合せたのは暫くの後であつた。元より誰一人知つた者は無かつた。

回三人の好奇心は仲々悪きぬ。怎かして此二人連れの名を知り度いと焦慮つたが茶屋の主人もお客の名をよくは知つて居なかつた。

回『是りや一つ此茶屋に雨宿りをなさつた記念の寄書をなされては如何でせう。さうしますと自然名前も……』と流石は一奴のお老爺さんいゝ處に考へついて扇面を持出した

回島崎醫師は章江と云ふ俳號迄持つて居る俳人である。早速

夏の雨憩ふ仙女を許しけり

と遣つた。やはかと許り一条居士も

山茶屋に仙女降りけり俄か雨

俄か雨醫者と美人の奇縁かな……

回其旨を具して別室に揮毫をと言ひ遣はした。がいつかな書かぬ再三再四の懇容も遂に二人連れの揮毫を得る事は出來なかつた

回雨は頻りに降り募る。其内に傘や下駄が屆けられるけれど『ねゝ今日の様な雨では患者も餘り來ませぬネ』と兩人は問はず語りに立たうともはしない。

回見るに見兼ねて、でも無からうが一奴のお老爺さんも好奇心に連れ込まれてグッと俠氣を見せて『ようがす明日の朝貴殿方の御出になる迄には乾度取調べて置きませう――』でやつと三人の重い腰は上つた。が、扨出す事が出來るか怎か、先づは今朝の漢陽公園の一幕は天晴れ見物である。

―運―動―欄―

▲遞信對實業庭球戰

遞信倶樂部と京城實業倶樂部の對抗戰は三十日午後五時半より鐵道倶樂部松島氏の審判で開始、結局七對三で遞信軍の勝利に歸した

演藝

▲大正館　八月一日より[illegible]を取替へ泰西活劇、武大活劇、[illegible]を巧みに[illegible]合したるもの[illegible]大活劇は伊太利ミラノ會社の傑作なりとその[illegible]なるもの次の如し

▲實寫パテー週報第九十號▲實劇[illegible]▲探偵大活劇天誅全四卷▲新派大悲劇[illegible]全三卷計八卷▲喜劇[illegible]全二卷

▲黄金館　軍事大活劇愛の司令、新派劇[illegible]何れも好評なり

▲浪花館　三遊亭遊三一行にて連夜好人氣を博し居れるか大切には[illegible]にて[illegible]話を演じ居れり

讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

◯マ一口噺隨意

甲『獨逸人の潜賊が石炭で喧つてたとよ』乙『そいつは腹黒い奴だ』　京城府西江通十五　宮崎　吐月

▲子供『お父さん内地からの電報は海の底を通つて來ますか』父『左様です』子供『不思議に濡れて居ませんね』　京城　岳　嵐生

▲讀者『飛行機を差押へられたそうだ』與太『馬だなあ飛んで逃げればいゝに』　義州　狂　月

▲與太『急行列車は一時間三十五マイル行くと』三太『ツマランなー隣りのお花坊でも御百度マイリした』　鎭山　枯　雄

▲甲『[illegible]台社が破産したれー』乙『財産なくつたんだらう』　龍岩浦　剣　牛

回前回一口噺一等當選仁川鈴木幸吉の物は昨年雑誌『うきよ』に揭載せるものと同一に付選賞停止す右到着通告者鳴山顕原秀氏

題	締切	發表
はめ句　謎題『暑中休暇と掛けて』	締切一日	發表二日
狂歌[illegible]	同二日	同三日
都々逸[illegible]	同三日	同四日
川柳題『匹似』	同四日	同五日
句は付『苦しいもの』	同五日	同七日
次回一口噺隨意	同六日	同八日

▲懸賞募集規程　▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲選賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一題二句以内の事▲此規程に違ふものは没書

◉營林廠材の割引販賣

營林廠は木材需用者の利便を計り廠材の大口取引契約者たる三井物産株式會社及新義州木材株式會社に對し左記割引を以て販賣せしむることとせり

記

一　現金取引の場合は本廠木材標準價格表の一割五歩以上
一　延取引の場合は同一割二歩以上

大正五年八月一日

平安北道新義州

朝鮮總督府營林廠

女鳩　渡邊默禪

『六』なさけ

と、後の方から、

『あれッ、大野さん。待つて下さい射つてはいけません、いけません。待つて下さいよッ。』

と叫んで、ひよろ〳〵した足どりで駆寄つたのが、今まで雪の上に仆れてゐた鳩子だつた。

『おッ、お嬢さんですか。』回顧つて見た男は先づその無事な様子に吻とした。『何故撃つては不可ないんですか。』それでも猟銃をおろさずに照準をつけた儘でゐた。

『いゝ、少し譯があるんです。』鳩子は其の傍へ來て勇の手に縋つた。『兎に角止して下さい。お願ですから。』

『止したら賊は逃げます。御覧なさいあの通り彼處を……あッ、あの森に入られたら最う駄目だッ。』

勇はもた〳〵と悶ゐ立て、振放さうとした。見るといつしか源作は天地に飛出して、大聲をかけながら天秤棒を小脇に追蒐けてゐた。けれども雪が滞るので思ふやうに足が捗取らず、躓けたり仆れたりするのが見てゐても迂かしいやうだつた。一方の賊は既に杉木立の近くまで逃げのびてゐて、後を見回り〳〵駆けるのが月明りで白い雪の上にはつきりと浮いて見ゐた。

『逃げてもよござんす。逃げるなら逃してお遣んなさいな。』

『え、如何して貴女は、そんなことを彼仰るんですか。貴女は、貴女に危害を加へた者を制裁するのが、保護者としての僕の義務です。第一被害者の貴女が加害者の賊を庇つて、僕の自由を妨げるといふのが奇怪ぢやありませんか。』氣が猛つてゐたので思はず激しく聞いた。

『だつて、逃げるのを後から狙撃するのは卑怯でせう。』

『僞うですか。』やけに銃をがらりと落して『卑怯だと彼仰るなら手搦にしませう。さ、放して下さいッ。』

『まア沈着いて聞いて頂戴よ、大野さん。』鳩子はぐつと肱を引いて『貴君、あの男を誰だと思つて。』

『誰だか分りません。捉まへて見ないうちは……併し大抵想像がつきます。』僞う言つて畑地の方を見ると、最う賊の姿が消えてゐた。『あア、とう〳〵駄目になつちやつた。残念なことをしたなア。』忌々しさうに舌打した。

『想像されるでせう。あれは貴君のお話どほり源太郎といふ奴よ。』

『それ御覧なさい。まだ執念深く貴女を突狙つてゐるのだ。ア、實に残念な。何故それなれば僕の自由にさして下さらんのだ。最も此の機會を逸して了つたら、僕が貴女の爲につくさうとする苦心が水の泡です。いかんですなア、貴女は。』頓足ふんで口惜しがつた。

『まア私にも言はして下さいよ。私だつて常識を持つてゐますから、憎い奴に復讐をしたいのは山々ですけれども、併し大野さん、考へて見て下さい。現在の私どもに取つたら、あの源太郎は全然知らない他人ですけれども、私どもの心から同情してある源作の子供でせう。又たお花の實の兄なんでせう。もし理由も糺さずに貴君の手で銃殺して御覧なさい。お花や源作の心持はどうですか。假令家庭に背いて放浪してゐる罪の子であつても、親は親、妹は妹です。その親や妹の目の前に、子供であつて見てある彼の源太郎の屍骸を引出して見せつけて御覧なさい。二人の心の苦悶や歎きはどんなでせう。假令銃殺しないまでも怪我をさせて、そして取捉まへてやつたら、私どもの誇になりませうし、又た事情を調べるのには都合がいゝでせう、けども、賊として殺人犯として、子供や兒を取扱はれた時の二人の心に立入つて見ますと、それも氣の毒で能きないぢやありませんか。私、源作とお花が可哀想です。』

泣々と言つた。その時、庭の方で何處ぢや〳〵といふ子供の聲が聞こえた。先に立つて灯を持つたお花の影が、破垣のあなたに隠れに見ゐた。

皮徽科　皮膚病　徽毒病　淋病　膀胱病　生殖器病　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）　日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（三元町）　佐藤醫院（電話一一七三番）

[大田湖南吟社小集（上）]　七月二十九日於松風書院
課題　茂、田草取、夏休、梅干

茂り晴れ遠咲く田も汽車挨　逸鹿
茂り見透す道乾き船を来て　同
新田取る草葉馬車笛近き　同
田草取る族さえ陽に水沸り　同
日増黒さも潮風に暑休の兒　同
騎者始まる柳に花に水打てり　同
梅干の輝めく午を兒と寝　同
梅干の匂ひ泌む二階馴れし頃　可祝
草茂る野末に笛の音や遠し　同
塵掃かぬ一茶の庵や草茂る　同
田草取る日焼の面や水鏡　同
九十九折の奥に奥ある茂哉　桐翠
田草取午睡のあとの一しきり　同
梅干の甕の濁りや雨近し　同
舊街道茂りを右に古城見ゆ　同
戰跡に傾く墓碑や草茂る　春三女
家園るにポプラ茂り蝶の道　同

新刊紹介

▲學生（八月號）夏期休暇號として特に清涼味に富む記述を多く收む、卷頭大町桂月氏の『蛇』以下數篇は本誌獨特の好文字『水子島燈臺のロマンス』原四士の『神の漁火』は盟しる號銀肉の双璧、他には丙塚博士の『茶の話』の訪問記 [illegible]

▲日本少年（八月號）夏休號と云ふ觸れ込みだけに諸精漁の夏休で先づお腹の貯換なさせ記者十人の日光から足尾への旅行記は居ながらにして涼しい旅行をさせる、懸賞附録裝飾の寫眞は身体らしい思ひ付きお慰みで淺山一戸大山將軍の少年時代の戰爭談はよく纒めたもの仙波中將の少年時代を寫眞小説にしたもの少年に面白く大山大將尾行記は滑稽の方に大きな趣味を與へる少年に讀ませたき雜誌だ（定價十二錢郵税一錢五厘東京實業之日本社發行）

▲少女の友（八月號）いつも有益なる記事面白き記事を盛にして優雅やかなる本誌の特色とせるが本號は殊に夏休號として『暑さ』といふ諸精漁に [illegible]

▲山泉（五）[illegible]

▲新家庭（八月號）[illegible]

▲現代の之國家主義（八月號）[illegible]

▲文人（八月號）[illegible]

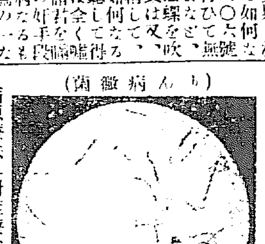
▲所謂朝鮮式大婦と言つて朝鮮で出來合ひの自由結婚夫婦は薄情者が多く何でも事件があれば大抵斯うした家庭に多い京城では黄金町界隈が内縁者の本場である（探偵係）

讀者の談

▲近所合壁の迷惑になるのは一向お構ひなしで夜遅く迄嬉嬉喋喋をなし時には琵琶三味線で大騒ぎをやつて安眠妨害をなすには困つたものだ（腹班）▲永樂町二丁目にも盛に油煙を吐出す煙突あり近所では着物も室内も油煙が舞ひ込み誠に閉口少しは夏時の公徳心に訴へ煙突掃除の費用をなしますばかり近に迷惑を掛けぬ樣御注意を願ひます（附近總代）▲夏期の水泳は體育上之に越したるものなし京龍人は漢江と云ふ良河を擁しながら好適の場所なきは遺憾なり例年各學校の水泳場たる西氷庫の往復に鐵道局にては學校以外のものは乘せざるものにや出來得るなれば幸なり（社宅住人）▲或るお役所の受附係りの横柄なのは困つたものだ殊にお雇ひさんが酷く威張り散らして用事も碌々敎へて呉れず此所はお役所だぞには聊か辟易せざるを得ない（税金納入者）

(ばい毒黴菌)

(りん病黴菌)



花柳病治療法は [illegible] 入（五）靜脈注入（六）梅毒療法（七）內服療法等各種の治療法がある。大概の者に病毒の腐食性下疳にも切除法、加熱療法、燒灼療法、化學的療法等色々あるが之れ等は悉く理學的療法の何れかに屬する中の一部で此の外に化學的療法と云ふのがある。 [illegible]

○注意　患者の弱點に乘ずる山師的賣藥屋に瞞著せらるゝ勿れ [illegible]

本舖　大阪（花柳病專門藥房）　合資會社　ドラッグ商會

花柳病專門藥房　ドラッグ商會滿鮮本部
京城南大門外停車場通り
長電話二五六七番
振替口座京城四六七番

無効返金　百圓進呈

りん病　請合藥（壹週間分）　特製參圓　普通貳圓　小包送料拾貳錢
ばい毒　請合藥（壹週間分）　特製貳圓　普通壹圓廿錢　小包送料拾貳錢
ぢ疾　請合藥（壹週間分）　內外併用壹圓四十錢　小包送料拾貳錢
婦人病　請合藥（壹週間分）　內用壹圓　外用六拾錢　小包送料拾貳錢
代金引換小包は送料廿錢　郵便切手にて前納を乞ふ

有名なる新剤淋病藥は [illegible] 帝國醫科大學病院 [illegible] 金百圓を進呈す [illegible]
無効藥は必返金す [illegible] 大阪區裁判所檢事局 [illegible] 僞ドラッグ [illegible] 有田監製 [illegible]

山田醫院　本町二丁目四十五　電話二八八〇番
內科　小兒科　花柳病科　眼科（入院隨時）
呼吸器病専門　胃腸病専門　山田萬作　尾形周太郎

胃病良藥　太田胃散
○飲過ぎ食過ぎに妙なり
[illegible]
本舖　東京呉服町　太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

新刊書御案內
書名　著者　定價
農村振興と産業組合　[illegible]　一、九〇
優波尼沙土物語　[illegible]　一、八〇
南國竹譜　[illegible]　三、六〇
佛教國民の理想　[illegible]　一、二〇
彼が作戰　[illegible]　九〇
家庭中流生活法　[illegible]　八〇
戰後文明の研究　[illegible]　[illegible]
中學百科辭典　[illegible]　[illegible]
改訂英和工學辭典　[illegible]　[illegible]
日蓮　[illegible]　[illegible]
母　[illegible]　[illegible]
等さ花火　[illegible]　[illegible]
少女小說　[illegible]　[illegible]
情火　[illegible]　[illegible]
婦人の使命　[illegible]　[illegible]
待合ロマンス　[illegible]　[illegible]
投入花の栞　[illegible]　[illegible]
實地圖解刺繡の仕方　[illegible]　[illegible]
謠曲手ほどき　[illegible]　[illegible]
謠曲の研究　[illegible]　[illegible]
新式文章作法手引　[illegible]　[illegible]
世間學　[illegible]　[illegible]

大阪屋號書店　京城本町電話二〇八六　振替京城二五七三

日本郵船仁川出帆
大連、太沽牛莊行
○相模丸　八月六日　正午出帆
商船丸　八月十六日　正午出帆
三河丸　八月廿七日　正午出帆
仁川海岸町二丁目　電話十一番　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸　八月　日後四時出帆
○大有丸　八月　日後四時出帆
○神代丸　八月十七日後四時出帆
○秀吉丸　八月十一日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
外航所圖航路（海洋航路を除く）[illegible]
○群山、木浦、釜山、鎭海、門司、神戶、大阪行
須磨丸　八月十三日　後五時出
×安東丸　八月八日
×天智丸　八月四日
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行　濟州丸　月　日　後二時出
×木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行　信濃川丸　八月廿七日　後二時出
×信濃川丸　八月九日
○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　須磨丸　八月一日　後二時出
×鎭南浦、大連行　信濃川丸　八月廿二日　後二時出
×信濃川丸　八月四日
○大連直行　日米丸　八月　日　正午出帆
△鹿州丸　八月九日
○群山、神戶、大阪行　宮島丸　月　日　後五時出
○群山、釜山、横濱行　福州丸　八月十四日　後二時出
×日米丸　八月四日
△鎭南浦、元山出帆　八城津、西湖津、二寄港清津不寄港
▲安平丸　八月七日
▲宮島丸　八月十三日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　北丸　八月十二日　後六時出
湖北丸　八月　日　前四時出
城津丸
御注意　[illegible]
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番
京城切符發賣所　內國通運會社　電話七〇八番

朝鮮郵船出帆
京城本町二丁目　京城代理店　松原運送店（電話一七〇番）
○全羅丸　八月十一日　釜山發
○京畿丸　七月卅一日
○黃海丸　八月四日
○成鏡丸　八月十四日
○穩城丸　八月一日　元山發
○昌平丸　八月　日
○鏡城丸　八月五日
○忠淸丸　八月十一日　元山發
○平壤丸　八月四日
○永興丸　毎月廿八回　元山發
○盈德丸　八月二日　釜山發
○江陵丸　毎日　釜山發
○寶陽丸　毎日　浦項發
○三浦丸　月　日　釜山發
○海州丸　毎日　釜山發
○統營丸　毎日　釜山發
○五臺丸　三日目毎ニ　木浦發
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發
○公州丸　八月二日　木浦發
○慶興丸　八月三日　木浦發
○慶興丸　八月七日　木浦發
○宗信丸　八月一日　仁川發
○江原丸　八月七日　仁川發
○麗水丸　八月一日　仁川發
○晉州丸　八月五日　仁川發
○錦江丸　毎日午前　仁川發
○南陽丸

共同汽船仁川出帆
阿波國共同汽船株式會社
第一共同丸　芝罘、大連行　八月三日午後入港　八月五日午前十一時出帆
第二共同丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行　立神丸　月　日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行　立山丸　月　日後十時出帆
門司、神戶、大阪行　小倉丸　月　日後五時出帆
元山、城津、浦鹽行　小山丸　月　日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三共平丸　月　日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行　第三共平丸　月　日後六時出帆
伎須奈、巖原、壹岐、博多行　天與丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

商況

大阪株式特電

大邱

▲薬縣中學校長來邱　千葉縣立千葉中學校長海野錦一郎、佐倉中學校長後藤賓成氏 [illegible] ▲迎日郡月學校組合は今回授業料徴收規程を制定し組合會の決議により鑛にして豫定額を超過せり ▲東村學校組合成績　慶北迎城郡東村學校組合は [illegible] ▲明治神宮奉獻 [illegible]

天安

▲遙拜式　天安邑内に於ては昨年御大典に際し [illegible] 山公園に太神宮を奉祀し爾來一層敬神の誠意を [illegible]